

# 連谷

RENGO

弁理士連合クラブ会報

No.33  
2023



# 目 次

## 巻 頭 言

弁理士連合クラブ幹事長	中川 裕幸	2
-------------	-------	---

## ご 挨拶

日本弁理士会会長	杉村 純子	4
日本弁理士クラブ幹事長	木戸 良彦	6
西日本弁理士クラブ幹事長	北原 宏修	8
弁理士同友会幹事長	田辺 恵	10
弁理士クラブ幹事長	權正 英樹	11

## 会 務 報 告

日本弁理士会副会長	伊賀 誠司	12
日本弁理士会副会長	岸本 達人	14
弁理士連合クラブ副幹事長	吉田倫太郎	17
弁理士連合クラブ副幹事長	茜ヶ久保公二	19
弁理士連合クラブ副幹事長	美川 公司	21
令和4年度弁理士連合クラブのあゆみ		22
総務委員会		24
企画委員会		25
役員協議委員会		26
研修委員会		28

## 親睦会報告

第30回連合旅行会・ゴルフ大会	29
-----------------	----

## 資 料

令和4年度弁理士連合クラブ役員	34
弁理士連合クラブ歴代役員	36
弁理士連合クラブ会則	61
弁理士連合クラブ慶弔規則	64
「特別寄付金」を求めるときの運用基準	65

## 編 集 後 記

	66
--	----

表紙「題字」山川 政樹 「写真」－コスモアイル羽咋(はくい)－ 張 華威

## ウィズコロナ下の再スタート



弁理士連合クラブ幹事長  
中川 裕幸

機関誌「連合」No.33の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

令和2年の初頭より流行した新型コロナウイルス感染症は、社会に大きな影響を及ぼし、弁理士連合クラブの活動も大きく制約されてきました。今年の夏に流行の第7波、そして年末に第8波がありましたが（この原稿を書いている時点で現在進行形です）、ワクチン接種が進んだこともあって、今年度はウィズコロナ元年となった感があります。これに伴い、弁理士連合クラブの活動も徐々に通常運転に戻ってきました。

5月に行われた日本弁理士会の第1回定時総会ではオンライン参加が多かった前年度までとは違い、リアルな参加者が増え、この総会の後には10派会議及び懇親会が開催されました。その際、日本弁理士クラブ幹事長及び西日本弁理士クラブ幹事長をはじめ、各会派の幹事長と面と向かって意見交換ができたことは、その後の会派間の意見交換、特に役員定時選挙において非常に役に立ったと感じました。例年、4月に西日本弁理士クラブ主催で行われていた、大阪での前年度役員慰労、新年度役員激励会は、残念ながら今年も中止されましたが、6月には横浜で日本弁理士クラブの旅行会が開催され、7月にも京都で西日本弁理士クラブの旅行会が開催され、両旅行会には弁理士連合クラブからそれぞれ15名前後の会員が参加しました。また、我々弁理士連合クラブも9月に金沢で旅行会を開催することができ、日本

弁理士クラブ並びに西日本弁理士クラブから多くの先生方に参加していただくことができました。これら旅行会等で、各会派間の執行部が互いの人となり理解し、また、会派間で意見交換ができました。

日本弁理士会の役員定時選挙は例年どおり行われ、弁理士同友会から推薦された副会長候補者である吉田倫太郎会員、常議員候補者3名、弁理士クラブから推薦された副会長候補者である瀧澤匡則会員、監事候補者である永井義久会員、そして3名の常議員候補者3名の推薦を当クラブとして機関決定し、無投票選挙で全員が当選を果たすことができました。また、会長候補として、日本弁理士クラブからの候補者である鈴木一永会員を弁理士連合クラブとしても共同推薦を行い、無事当選されました。今年度は、関東地区の常議員選挙において、立候補時点で定員2名オーバーの状況が生じましたが、この際、日本弁理士クラブとの間で意見交換を行い、結果として当クラブは当初の推薦した候補者が欠けることはありませんでした。場合により投票選挙は大切なこともあります。当選された次年度の会長及び副会長から準備を早めに行うことができた旨のメリットを聞くと、今年度の状況は良いことであったと感じます。改めて日本弁理士クラブのご決断に感謝いたします。

今年度は、大正11年に現在の弁理士制度ができて100周年にあたることから、無名会とPA会が創立100周年を迎え、それぞれの記念式典において弁

理士連合クラブを代表してあいさつを行いました。  
この挨拶に際して、当クラブの重鎮の先生にお話し  
を伺い、各会派の成り立ちを勉強しましたが、弁理  
士連合クラブを含めた10の会派が中心となって支  
える弁理士制度の意義を改めて感じた次第です。

弁理士同友会の田辺恵幹事長、弁理士クラブの権  
正英樹先生には、次年度人事委員会における日本弁  
理士会の委員推薦や、各旅行会への参加メンバーの  
決定、投票選挙の際の立会人推薦、そして、総会開  
催等の連絡等を迅速に行っていただきました（特に、  
今年度は臨時総会も多く、期限が限られるなか、当  
クラブからの要望にも快く応えていただきました）。  
弁理士連合クラブの活動を力強く支えていただき、  
感謝申し上げます。

最後になりましたが、役員定時選挙において他会  
派との交渉を積極的に行っていただいた井上一選挙  
対策委員長、当クラブの総会を円滑に運営していただ  
いた小國泰弘総務委員長、会計処理を迅速に行っ  
ていただきました笹川拓総務副委員長、そして、旅  
行会を現場で仕切っていただいた小越一輝企画委員  
長がいなければ、今年の弁理士連合クラブの活動を  
円滑に行えませんでした。厚く御礼申し上げます。

なお、今年5月、弁理士連合クラブの相談役を務  
めていただいた中島淳先生がご逝去されました。中  
島淳先生には、元日本弁理士会会長という視点から、  
長きに亘り当クラブに対し貴重かつ適切なお助言を  
いただいております。当クラブにとってなくては  
ならない方であり、謹んでご冥福を祈ります。

振り返れば、この新型コロナウイルス感染症の時  
代は大変な3年間でしたが、オンライン会議など新  
たな価値観を社会に与えた3年間であったともいえ  
ます。これからウィズコロナの時代に移行するで  
しょうが、梶俊和幹事長のもと、弁理士連合クラブ  
も新しい価値観をもって活動が行われることに期待  
して、私の挨拶と代えさせていただきます。



# 「知的財産が支える社会をデザインする！」



日本弁理士会会長  
杉村 純子

### はじめに

会長1年目となる令和3年度は、コロナ禍での会務運営となりましたが「時代の変化をチャンスに！」をスローガンに活動をしてまいりました。令和4年度は、前年度の経験を踏まえ、「知的財産が支える社会をデザインする！」をスローガンとして掲げ、社会課題を解決する新技術や新サービスを創出する環境を、知的財産が支える社会としてデザインできるように、更に日本弁理士会の活動の中に国際的課題であるSDGsを位置付けて各事業を推進しております。コロナ禍であっても、関係省庁・関係団体と意見交換しながら会務を運営しております。この間、弁理士連合クラブの皆様方には、陰に陽にご支援をいただき感謝しております。

### 弁理士会のニューノーマル形式への試み

弁理士が活躍する未来社会の実現に向けた取り組みを強化している中で、特にリモートワークが進んだことで、会員の皆様からのご要望が多かったパテント誌のウェブ化を本格的に実現する等して、職場へ送付される郵送物を低減しました。一部は郵送物として発送する書類もありますが、リモートワークを考慮して自宅に発送先を変更する手続きも開始しました。また総会ではウェブ投票システムを導入し、DX化を図っております。更に、弁理士会への届出手続には押印が必要な書類も多くありますが、現在、押印を不要として会員の皆様への利便性を向上させる運用について検討しております。

この他の事項についても会員の皆様の利便性を高めるため、日本弁理士会としてのDX化を積極的に促進しています。以下、最近の主な事業活動にフォーカスしてご報告します。

### 社会ニーズにマッチした魅力ある知財制度の実現に向けて

DX、AIやIoT等の新たな技術分野の進展、サプライチェーンの変革、グローバル競争の激化等、知的財産を利用する社会環境は大きく変化しており、コーポレートガバナンスコードに知財を経営資源とすることが明記され、知的財産の重要性が一層増加しています。このように社会環境等が急速に変化する中で、知財制度の利活用形態も変化しています。今後の社会ニーズにマッチした魅力ある知財制度を実現し、弁理士が活躍できるベースを構築するため、日本弁理士会が積極的にリーダーシップを発揮し、関係省庁や関連団体とも頻繁に意見交換会を実施して、多方面に政策提言をしております。

一例として、令和4年6月には「知財活用促進に向けた知財制度の在り方」の報告書がまとめられ、商標ではコンセント制度の導入、他人の氏名を含む商標の登録要件の緩和、意匠では新規性喪失の例外適用規定の緩和等の検討が前向きに進むこととなっており、今後、産業構造審議会の各小委員会で議論されることとなっております。更には、経済安全保障推進法関連の非公開特許制度については、令和5年以降に基本指針、その後に政令等が検討開始され、施行は令和6年の4月頃ではないかとのことです。関係各省庁や関係各団体との意見交換においても、日本弁理士会が主体的となって、主張すべきことは主張し、協力すべきことは協力し、さらに、連携すべきことは連携しながら、精力的な取り組みを行っています。

### スタートアップ知財支援の強化

令和4年1月に「スタートアップ知財支援元年」を宣言し、スタートアップの知財支援を強化してお

ります。スタートアップにとって、知的財産はその事業活動を支え、安定な経営をもたらす重要なツールです。近年は経済社会システムの在り方が大きく変化しており、その中で経済が持続的な成長を実現していくためには、技術を機動的かつスピーディーに社会実装できる仕組みが必要であり、スタートアップはその主役でありイノベーションの原動力です。スタートアップは、創業間もない企業だけではなく、既存の中小企業が新規事業を立上げ急速に成長させていくことも含まれるものです。このようなイノベーション機能を担うスタートアップにとって、特許等の知財戦略は、ビジネスの成否を分ける決定的なポイントになります。知的財産をベンチャーキャピタルや銀行からの融資・投資の対象としての評価が推進されるように、各地域会や各経済産業局とも連携を強化して、全国のスタートアップの知財支援を強化しているところです。また会員向けには、スタートアップパネルを「弁理士の日」に実施し、今後スタートアップセミナーを3回シリーズで東京・仙台・福岡で実施する予定です。リアル参加のみならずウェブ配信し、誰でもどこでも受講できるようになってます。今後は1月に企画している新春セミナーでもスタートアップパネルディスカッションを実施する予定です。また日本ベンチャーキャピタル協会やベンチャー学会とも連携を構築しています。昨年度創設した「中小企業知財経営推進本部」はスタートアップも対象とし、本会と各地域会とが一体となって地域に根差した地域知財の活性化による地域支援を強化・実施していくとともに、INPIT、特許庁、日本商工会議所とも連携を深めて弁理士の活躍の場を増やしていただく話し合いを開始しています。

またブランディングの重要性の啓発活動のために、ブランディングマネージャー協会とも連携をし、本年度、日本弁理士会会長賞を創設していただきました。今後、地方でブランディングセミナーを開催して、ブランディングの重要性と併せて商標取得の意義について広めていく予定です。

### 日本弁理士会の組織・機能強化等

日本弁理士会の組織・機能強化について、いくつかご紹介させていただきます。

日本弁理士会の附属機関・委員会への企業弁理士の参加の便宜を図るため、7月にも附属機関・委員会への公募を実施し、若手の会員に応募をいただきましたので、新鮮な意見が展開されることを期待しています。

また、弁理士会のSDGsについても検討をしてい

ただいてます。そして、国連サミットで採択されたSDGsを目標としている「2025年大阪・関西万博」の宣伝活動を知的財産を結び付けて実施すべく、大阪・関西万博の商標に関する教育支援のコンテンツを作成しております。また、共創パートナーとして、令和5年1月開催予定の新春セミナーは「2025大阪・関西万博に向けて」をテーマにして実施する予定です。

またハラスメントについては、ガイドラインをコンプライアンス委員会で作成していただいています。

### 会員サービスの強化

関連機関から発表された情報をタイムリーに会員にお知らせすることとしてます。弁理士会からのお知らせメールが多数あると思いますが、有益となる情報も多くありますのでご確認いただきたくお願い申し上げます。

また、弁理士制度の将来を担う人材としての若手会員には、WIPO職員への就職情報等の国際的にチャレンジできる場の情報を提供し、応募された弁理士が採用されました。今後も継続して様々なチャレンジができる場の情報を収集して提供していきたいと考えています。

執行部の動向を発信するため、日本弁理士会役員会ツイッターやフェイスブックを活用してます。ぜひフォローをお願いします。

### 国際関係

本年度は、中華商標協会と当会との20周年記念年にあたり、中華商標協会と当会とで協定を締結し、両国の商標制度の発展に寄与していくことを確認いたしました。また大韓弁理士会と当会との40周年を記念して、東京で記念セミナーを開催する予定としております。ウェブ会合も活用しながら、多くの国の弁理士会とも積極的に意見交換を実施しています。また令和5年2月～3月には、タイのバンコクでアジアセミナーを開催して、日本の知財制度のアピールと日本ファンを増やしたいと考えています。

### 最後に

本年度末日まで、副会長・執行理事とともに、会員の皆様のために、また弁理士制度・知財業界の発展のために尽力してまいりました。これからも日本弁理士会執行部へのご協力・ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(令和4年12月原稿受領)

以上

## 旅行会の復活！ 三派の結束強化！



日本弁理士クラブ幹事長  
木戸 良彦

### 1. はじめに

令和4年度日本弁理士クラブ幹事長を務めております木戸良彦でございます。

日本弁理士クラブ（会の内外から“日弁”と呼ばれております。）は、ご承知のように、PA会、南甲弁理士クラブ、無名会、稲門弁理士クラブ、春秋会の5つの会派により構成されています。

この度は、貴クラブの機関誌に挨拶を掲載いただき、貴重な機会をいただき、誠に光栄に存じます。

### 2. 旅行会の復活！

ここ2年間は、コロナ禍の影響を受け、日弁においても、多くのイベントはリアル開催ではなく、ウェブによる開催を余儀なくされていました。

しかしながら、本年4月以降は感染状況も落ち着き、社会的な雰囲気としても、旅行会を開催してもよい情勢となっておりました。その一方で、感染対策を講じる必要もあり、日弁としては、鋭意検討の結果、従来のスタイルに完全に戻るのではなく、6月に横浜を開催地とする旅行会を実施することとしました。

多様な参加スタイルをご用意し、宿泊するかどうかも自由、宿泊する場合もシングルユースのホテルに滞在とし、宴会は横浜中華街「状元樓」で着席形式にて、伝統の上海料理をお楽しみいただくというプランで、弁理士連合クラブの皆様にも多数ご参加いただき、宴席の参加者数は102名と定員を超える

満員御礼となりました。

その後、日弁の旅行会を皮切りに、西日本弁理士クラブ主催の旅行会が7月に京都で、ご承知のように、貴クラブの旅行会が金沢で無事に開催されることとなりました。

3年ぶりの旅行会で、普段Zoomの画面越しでしか会うことのできなかった仲間とのリアルでの再開は格別なものがありました。

これらの旅行会で、三派の結束・親睦は大変深まったものと思っております。

### 3. 役員選挙について

本年度は、会長選挙の年でした。日弁会員の鈴木一永候補の共同推薦を貴クラブからいただくことができ、大変感謝しております。お陰様で、西日本弁理士クラブからも共同推薦をいただき、三派の協力体制のもと、無事に当選することができました。

共同推薦をお願いするにあたり、貴クラブにご説明した会長候補の政策案については、日弁の政策委員会で鋭意検討したものでありました。その後、貴クラブからも貴重なご質問・ご意見をいただき、よりブラッシュアップされたもので、次年度会務検討委員会に引き継ぐことができました。

また、当初予想されていた副会長選挙はなかった一方で、関東地区の常議員については定数オーバーという状況となりました。この点については、貴クラブとの協議を経て、結果として投票選挙は回避さ

れるものとなりましたが、双方のクラブとも色々な意見があると思います。

ぜひ、次年度以降は、より未来志向の有意義な協議ができたらと願っております。

#### 4. 最後に

中川裕幸幹事長をはじめ、弁理士連合クラブの諸先生方には、人事・選挙・政策等の様々な場面でご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本年度の杉村政権を支えていただいておりますように、変わらず、次年度の鈴木一永政権も支えていただけますと幸いです。

また、次年度の日弁の幹事長は、本多敬子が務めさせていただきますので、弁理士連合クラブの諸先生方からのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



### 三派連携で日本弁理士会の再活性化を！



西日本弁理士クラブ幹事長  
北原 宏修

令和4年度の西日本弁理士クラブ幹事長を務めております北原宏修と申します。

この度は、小生の挨拶文を貴クラブの機関誌にご掲載いただき、非常に光栄に感じております。小生は大した文才を持ち合わせていないので、稚拙な文章も散見されるかと思いますが、ご一読いただければ幸いです。

まずは、本年9月に開催された貴クラブの旅行会に小生および弊クラブの幹事会関係者を招待いただいたことを、この場を借りてあらためて深くお礼申し上げます。久しぶりのリアルでの懇親ということもあって、非常に有意義な時間を過ごすことができました。弊クラブとしては今後もこのような懇親の場が増えていくことを願っております。

ところで、2019年12月初旬から長らく続いている新型コロナウイルス感染症ですが、未だに終息の様子が見えない状況です。しかし、国民のワクチン接種が進んでおり医療崩壊の懸念が低下しているせいか、最近、政府は、我々国民に対して行動自粛を要請せず、経済を回していくことに推奨しているように見えます。また、日本弁理士会は感染拡大の第八波の局面において弁理士会館会議室の外部貸出を再開しており、各地域会事務所の会議室についても近々、同様の措置が取られる予定と聞いています。このような状況ですので、感染対策を十分にしながらという前

提にはなりますが、会派活動を再活性化させ始めるべき時期が来ているのではないかと感じております。

このため、弊クラブでは、ここ最近、各種イベントをリアル開催し始めております。来年の役員慰労激励会についても、貴クラブおよび日本弁理士クラブの先生方を来賓としてお招きしてリアル開催することを決定しており、翌日の懇親ゴルフコンペも含めてその準備を進めつつあります。会場となるホテルおよびゴルフ場と協力して十分な感染対策を講じますので、同役員慰労激励会にご臨席賜りますようお願い申し上げます。

さて、ここで話は少し変わりますが、現状、貴クラブ、日本弁理士クラブ、そして、弊クラブの三派の協力が日本弁理士会を下支えしていることは明らかな事実です。この三派の協力がなければ日本弁理士会の組織が脆弱になり、その活動が停滞してしまうことは容易に想像されます。このような組織の脆弱化や活動の停滞は避けなければなりません。しかし、我々は上述の新型コロナウイルス感染症の長期化に加えて近年の弁理士試験合格者数の減少に直面しており、正直なところ、弊クラブでは新規入会者の獲得に苦勞しております。このため、極めてゆっくりとではありますが上述のような状況に向かいつつあるのではないかと漠然とした不安を感じております。その不安を払拭するにはどうしたらよいかと、現在、頭を悩ませております。上述の通り、弁理士試験合

格者数が減少しているため、弁理士登録から数年経っている方々すなわち無会派層の方々を勧誘対象とせざるを得ません。そのような方々の意識をこちらに向ける施策を考えなければならないのですが、今のところ、研修の充実、実務情報の共有化等ぐらいしか思い浮かびません。もし貴クラブでもこのような不安をお持ちであれば、貴クラブの先生方とそのような不安を共有し、共に解決の道を探る場を持ちたいと思っております。

最後に、上述のような不安を抱きつつも、弊クラブは、クラブ員数の増加に努め、その中から優秀な人材を日本弁理士会に送り込むと共に、貴クラブおよび日本弁理士クラブの先生方と一致団結して日本弁理士会のさらなる発展に貢献していく所存でございますので、今後とも引き続きよろしく願いいたします。

以上



## 本年度のあゆみ



弁理士同友会幹事長  
田辺 恵

令和4年度弁理士同友会幹事長を務めさせていただきました田辺恵と申します。

本年度は新型コロナウイルス蔓延の影響で各種活動が滞っていた2019年から2021年までの日々と少しずつ変化し対面の活動が始まりオフラインとオンラインを上手に使い分けながら再びあゆみ始めた年となりました。

弁理士連合クラブの定時総会をかわきりに、本年度の会務が始まりました。弁理士連合クラブの各種役職には、弁理士クラブ及び弁理士同友会から推薦をするわけですが、当会の会員は皆快く役職をお引き受けいただき、弁理士連合クラブ執行部全体としてもよい布陣でスタートをきれたのではないかと思います。

5月には日本弁理士クラブの旅行会そして6月には西日本弁理士クラブの旅行会にご招待いただきこの3年間にすっかりZoomのむこう側とこちら側になっていた方々と実際にお会いし語り合うことの大切さに気づかせていただけるよい機会となりました。

また9月に開催されました弁理士連合クラブ旅行会では、企画委員の先生方が充実した旅行企画と運営をしていただき有意義な金沢及び羽咋での日々となりました。

そして、夏の臨時総会にて次年度の日本弁理士会役員候補者が決まり選挙の体制が整いました。立候補届出提出期間となり、いざ立候補者が出そろってみると副会長は定員通りであった一方で、常議員関

東会選挙区の候補者は定員より多い立候補者がありました。その後連日にわたり弁理士同友会そして弁理士連合クラブでの意見交換がなされ最終的に選挙戦回避に向かうことができましたがこのためには多く方のご尽力があったことと思います。弁理士同友会推薦の候補者全員を当選させていただきましてありがとうございました。

先日には日本弁理士会役員当選祝賀会が無事に開催され、次年度会長鈴木一永先生をはじめとする当選者を囲み皆で祝杯をあげることができましたことは嬉しいことでした。

最後になりましたが、一年を通じて弁理士連合クラブ幹事長中川裕幸先生はじめ正副幹事長の先生方におかれましては、きめ細やかに弁理士同友会に情報をくださり構成会派幹事長としては円滑に会務を進めることができました。改めて弁理士連合クラブ正副幹事長の先生方に深く御礼申し上げます。

また、構成会派である弁理士クラブ幹事長の権正英樹先生とは選挙の件はもとより研修についても相互に会員の参加を促し年間を通じて円滑な情報交換ができましたこと御礼申し上げます。

### 今年一年を振り返って



弁理士クラブ幹事長  
権正 英樹

令和4年度弁理士クラブ幹事長を務めました権正英樹です。機関誌「連合」の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

中川裕幸幹事長をはじめ、今年度、弁理士連合クラブの役員及び委員でご活躍された先生方には、本当にお世話になった一年間でした。コロナ禍のもとの会派活動からコロナ禍後の会派活動に変わり、手探り感を感じつつ会派活動を行ったこの一年は、先生方のご協力があったからこそ乗り越えることができたと思っております。心より感謝申し上げます。

今年、昨年まではコロナ禍のために実施できなかったリアルでの十派幹事長会が、5月の弁理士会の定期総会後に開催されました。また、6月には、日本弁理士クラブの旅行会が、横浜で開催され、さらに、7月には、西日本弁理士クラブの旅行会が、京都で開催され、さらには、9月には、弁理士連合クラブの旅行会が、金沢で開催されました。このように、今年からは、リアルな会合の場が設けられるようになってきて、より複雑な交渉も行えるようになったように思います。

日本弁理士会の役員定時選挙では、立候補届の提出期限の段階で、副会長選、監事の立候補者数が定員でしたが、常議員選には、会派に所属していない方が2名立候補し、定員を2名オーバーしておりました。しかし、今年、次年度会長候補を三派で共同推薦できたことや、リアルな会合で、三派の幹事長同士や役員委員長同士が、より親密に意見交換できたことなどにより、次年度の会長会派から2名の

立候補を撤回いただき、常議員選を回避することができました。これに際して、弁理士連合クラブの役員担当の先生方には、日本弁理士クラブとの折衝や情勢の収集など、多大なご苦労があったかと思えます。心より感謝申し上げます。

また、今年の秋に行われた弁理士連合クラブの旅行会では、石川県金沢を訪ねる機会をいただきました。弁理士会役員選挙の直前に行われる連合旅行会は、弁理士連合クラブ、そして弁理士クラブとしての意見を参加する他会派に伝えるとともに、他会派の動向や考えを肌で感じ取れる貴重な場であったと実感しました。弁理士連合クラブの旅行会担当の先生方には、多大なご苦労があったかと思えます。心より感謝申し上げます。

この一年間、弁理士クラブの幹事長として弁理士連合クラブにかかわったことで、弁理士連合クラブが三派のうち一派として他会派と付き合い、特に選挙での調整に重要な役割を果たしていることを実感しました。また、このような重要な会派であるにもかかわらず、弁理士連合クラブなどの会派活動に関心な弁理士が増えている現状を、少しでも変えていきたいという気持ちを強く持ちました。微力ではございますが、私は、次年度以降も、弁理士連合クラブの活動にかかわっていきたいと考えております。

最後になりましたが、冒頭でふれた弁理士連合クラブの役員及び委員の先生のみならず、田辺恵幹事長をはじめとする同友会の先生方にも多大のご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

## 会務報告



日本弁理士会副会長  
伊賀 誠司

### 1. はじめに

弁理士連合クラブのご推薦を戴き、令和4年度日本弁理士会副会長を務めさせて頂いております、伊賀誠司です。弁理士連合クラブの皆様には、日頃からご支援・ご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

さて、本年度の執行役員会は、2年度目となる杉村純子会長の下、「知的財産が支える社会をデザインする！」とのスローガンを掲げ、コロナ禍におけるニューノーマル（新生活様式）時代に適応すべく、リモートワークやDX化のさらなる促進、SDGsへの取り組み等、新生活社会に即応した各種事業の立案・企画を展開しています。中でも、「スタートアップ知財支援元年」を宣言し、中小企業等に対するスタートアップ支援に力を注ぎ、知的財産の活用に基づく地域経済の活性化に寄与すべく、各地域会とともに積極的な活動を行っております。また、本年度は、中華商標協会との協定締結20周年、日韓弁理士交流40周年の各式典事業が開催されました。

今年度の会務も残り半分を過ぎました。ここに来てやっと委員会等の運営において、リアル会議開催の方向性が示されました。まだまだコロナ禍の状況は不透明で、油断せず注視していかなければなりません。後半戦にかけてもしっかりと会務活動を行って参る所存です。

### 2. 会務報告

私が担当しております付属機関や委員会等におけ

るこれまでの活動について、以下、簡単にご報告させていただきます。

#### 【広報センター】

広報センターは、昨年に引き続き、井澤幹広報センター長の下、広報事業の企画・実施、マスメディアへの情報発信、日本弁理士会ホームページの管理・更新、会誌「パテント」や広報誌「パテント・アトニー」の発行等を行っています。

4月に杉村会長による本年度方針の記者発表、7月には杉村会長と作家南原詠さんとの対談、さらに11月には貿易円滑化対策委員会の福森智哉委員長による模倣品輸入規制に関する記者説明会を行いました。なお、平成29年度に制定された「日本弁理士会の短中期的広報戦略（5年計画）」に基づく弁理士の認知度向上を図る取り組みについては、特に大きな事業は行いませんでしたが、本年度も弁理士の知名度に関するアンケートは行います。

#### 【防災会議】

防災会議は、本年度は、平山淳議長の下、防災訓練の検討・実施、防災マニュアルや災害時の行動に関するto doリストの随時見直し、防災備品の検討・整備及び日本弁理士会の災害時用HPの改善等を行っています。今年は、地震の他にも大雨による河川の氾濫等が多く発生しており、その

都度、災害地域における会員の安否確認の可否を検討し、必要により対象会員への安否確認を行っています。また、弁理士会館における防災訓練では、麴町消防署のご協力のもとVR車を派遣して実施致しました。

#### 【意匠委員会】

意匠委員会は、本年度は、森有希委員長の下、意匠法の法改正や意匠制度の運用改善等についての提言を検討するとともに、意匠出願増に資するための施策について検討しています。また、特許庁等からの意匠制度に関するパブリックコメント・意見募集への対応を図っています。

特に本年度は、令和元年の意匠法の大改正に基づいて、新たに保護対象とされた画像自体や建築物及び内装の意匠に関し、令和2年より出願可能となり段々と登録事例が蓄積されて参りましたので、その登録動向を調べ、これら新たな意匠の有効な権利化・活用化に向けての知財戦略を検討し、その結果を関東会や各地のセミナー等で会員に提供しました。

また、法改正に関しては、産業構造審議会意匠小委員会等において新規性喪失の例外規定の適用証明書の簡略化等に対する提言を行いました。さらに、コンテンツ東京やTOKYO PACK等のイベントへの参加等も例年通り行いました。

#### 【著作権委員会】

著作権委員会は、本年度は、坂田泰弘委員長の下、著作権に関する諸課題について調査・研究及び提言、著作権分野における弁理士の知名度向上のための施策の立案、コンテンツ保護・利用及びコンテンツビジネスに関する調査・検討等を行っています。特に、昨年度検討した文化庁HPの「著作権契約書作成支援システム」を用いた著作権契約書作成マニュアルについて、会員向けセミナーの企画・開催します。また、例年通り、最近の著作権に関する重要判例の調査・検討や特許庁等の著作権に関するパブリックコメント・意見募

集等への対応を行いました。その他、特許ニュースやデジタルカメラマガジン等の外部出版物への著作権に関する記事の提供や監修、コンテンツ東京等のイベントへの参加も例年通り行いました。

#### 【関東会】

関東会は、本年度は、塩野谷英城会長の下、各都県の委員会の他、広報委員会を始めとする各種の組織系委員会を配し、地域に根差した効率的な活動を行っています。特に本年度は、中小企業・スタートアップ支援委員会を立ち上げ、本会のスタートアップ支援事業を下支えしています。また、昨年10月にスタートした弁理士紹介制度への対応も引き続き行っています。

また、弁理士の日記念イベントは、埼玉委員会が担当し、7月に越谷レイクタウンにて開催されました。3年ぶりのリアル開催で盛会に催すことができました。

### 3. おわりに

副会長としての仕事内容は、当初の予想をはるかに超え、毎日のように会務に追われています。しかしながら、皆様のお力添えにより、何とか任務を果たせていると思っております。これも皆様のご支援の賜物であり、心から感謝する次第です。残りの任期につきましても、副会長としての職責を全うすべく精一杯努力して参りますので、引き続きのご指導・ご協力の程、お願い申し上げます。



## 令和4年度の役員会報告



日本弁理士会副会長  
岸本 達人

### 1. はじめに

弁理士連合クラブの推薦を頂き、令和4年度の日本弁理士会副会長を務めております、岸本達人です。

コロナの流行は本年度も断続的に発生していますが、昨今は、リアル会議とウェブ会議を組み合わせたハイブリッド形式による委員会の開催、各地域会での常設知的財産相談の再開、弁理士会館の会議室貸出の再開など、ウィズコロナの体制が浸透しつつあります。委員会等の会務活動や外部団体との交流を縛る制約が解除される、そんな兆しが、ようやく見えてきました。

本年度、私が担当している委員会等の会務活動について、ご報告いたします。

### 2. 会務報告

私が担当する組織は、中央知的財産研究所、弁理士法改正委員会、産業標準委員会、業務対策委員会、継続研修履修状況管理委員会、地域会サミット、北陸会です。それらの活動について報告いたします。

#### 【中央知的財産研究所】

長期的及び国際的視野から、内外の知的財産及び弁理士の諸問題について調査・研究を行い、その成果を別冊パテントで公表しています。この研究所は、弁理士で構成される内部研究員と、学术界又は産業界の学識経験者、弁護士、裁判所・特許庁出身者等で構成される外部研究員とが共同で

知財に関する研究を行っています。

本年度は、「知的財産権のエンフォースメントの新しい地平」、「知的財産と経済—インフラ産業における競争と知的財産権」、「不正競争を中心とした非登録型知財法制」、「イノベーションに資する技術情報の活用方法—先使用、ライセンス、消尽の視点を中心に—」を研究課題としています。

「知的財産権のエンフォースメントの新しい地平」は、今年度中に研究を終了し、別冊パテントを発行する予定です。

「イノベーションに資する技術情報の活用方法—先使用、ライセンス、消尽の視点を中心に—」は、公開フォーラムで会員及び非会員に発表する予定です（令和5年1～3月ごろ）。

また、会員向け研究発表会も開催する予定です（令和5年1～3月ごろ、テーマ未定）。

#### 【弁理士法改正委員会】

本年度は、以下の2つのポイントで活動を進めています。

- (1) 弁理士制度のあるべきかたちの検討（今後の長期的視野に立った弁理士法改正事項に関する検討及び具体的提言）

令和3年弁理士法改正が一区切りし、数年後の改正時期に備え、改正すべき事項の検討を進

めています。現在は、幅広い分野にわたって多くの可能性について議論しているところです。

## (2) 弁理士法改正対応についての必要な情報収集並びに会員への周知及びその他のサポート

令和3年弁理士法改正において「弁理士法人への名称変更」と「一人法人が可能であること」が盛り込まれたところですが、「特許業務法人」から「弁理士法人」への名称変更については、施行日（令和4年4月1日）から1年以内（令和5年3月31日まで）に変更手続を終えていない法人は解散したものとみなされます。

11月上旬の段階で、まだ名称変更手続を完了していない特許業務法人が100余り残っていると報告を受けています。

そこで、会員が名称変更手続を速やかに実行できるように、会員課を通じて質問窓口を設けるとともに、参考資料として、特許業務法人から弁理士法人への名称変更について（令和4年発行）、弁理士法人の手引（令和4年6月発行）、弁理士法人に関する参考資料（令和4年発行版）、弁理士法人関係届出書式などを電子フォーラムに掲載しています。

### 【産業標準委員会】

産業標準規格その他の規格の作成に関与し、又はこれに関する相談に応じることができるスキルを弁理士に普及させることを目的とし、調査・検討しています。

本年度、スキルの調査・検討については、大企業における産業標準を利用した知財戦略を調査・検討する部会と、中小企業における産業標準を利用した知財戦略を調査・検討する部会に分かれて活動しています。中小企業における産業標準の利用は注目されつつありますが、多くの中小企業はその可能性にまだ気づいていません。弁理士が中小企業による産業標準の利用を支援し、その中からグローバル企業へ成長するケースが当たり前のことになってほしいと願っています。

弁理士へのスキル普及については、会員向けセ

ミナーを企画・実施する部会と、標準に関するコンサルティングができる弁理士の育成を検討するためにトライアル案件を実施する部会に分かれて活動しています。

産業標準委員会では、次のような会員向けセミナー（継続研修）を開催済み又はこれから開催します。これらのコンテンツは、eラーニング化され、今後3年間配信されます。

- (1) 一橋大学 経営管理研究科 教授 江藤学氏を講師に招き、「製品開発・市場化における知財マネジメント戦略」を主テーマとする3回シリーズのセミナーを開催しています。第1回の副テーマ「ツールとしての標準化」（8月24日）、及び、第2回の副テーマ「試験方法規格・認証の戦略的活用」（11月2日）は、すでに開催しました。第3回の副テーマ「規格に特許を包含させる戦略」は12月16日に開催します。
- (2) 東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員シニア・リサーチャー 二又俊文氏を講師に招き、「知財と標準化を活用した事業戦略」をテーマとするセミナーを12月6日に開催します。

### 【業務対策委員会】

弁理士の資格がない者が弁理士業を行っていること（非弁行為）を調査し、行為を止めさせる活動を行っています。弁理士が本来得べき利益を直接侵奪する行為を撲滅するための活動です。

会員の皆さんからの情報提供や業務対策委員会の自発的な調査によって、非弁の疑いがもたれる行為を発見し、非弁疑義者と行為の詳細を特定し、疑いが晴れない場合には疑義者に対し是正を求めます。悪質な事案には、刑事告訴も視野に入れて対応します。

非弁行為の禁止規定は弁理士法75条に定められていますが、当該規定中の「報酬を得て」要件を立証することが極めて困難であるため、非弁行為を止めさせるまでに多大な労力を要し、徒労に

終わることも少なくありません。近年は、非弁行為が巧妙化しており、困難な活動を強いられています。

この委員会は、税理士法や司法書士法等と同様に、弁理士法75条の「報酬を得て」要件を外す法改正についても、長年にわたり検討と情報蓄積を続けていますが、実現できる見込みは立っていません。

#### 【継続研修履修状況管理委員会】

会員の皆さんの継続研修の履修状況を管理し、未履修者に対して受講勧告を行っています。

継続研修は弁理士会会則（会則17号）57条に規定されており、具体的な手続は、継続研修履修状況管理規則（会令89号）及び継続研修実施細則（内規94号）に規定されています。研修期間内に所定の研修単位を履修しなかった者には受講勧告書が送付され、説明書の提出が認められ、やむを得ない理由がある場合には保留期間内に不足分を履修することにより受講完了となります。一方、やむを得ない理由が認められない場合及び保留期間内に履修完了しない場合には、処分予定通知が送付され、弁明書の提出が認められ、やむを得ない理由がある場合には保留期間内に不足分を履修することにより受講完了となります。一方、やむを得ない理由が認められない場合及び保留期間内に履修完了しない場合には、会長に義務不履行者の報告がなされ、その後は、会員処分のための調査対象となります。

病気等で履修が困難な場合には、救済措置（やむを得ない理由、保留期間）の対象となるか、会員課にご相談ください。

#### 【地域会サミット】

地域会サミットは、全ての地域会会長と本会役員が参加し、地域会にかかわる問題について議論する会議です。本年度は、10月24日に、リアル会議とWEB会議を組み合わせたハイブリッド会議を実施しました。

本年度の地域会サミットでは、次の議題について意見交換しました。

- (1) 交通費精算の簡素化について
- (2) 役員の立候補の手続きについて
- (3) 学校支援の在り方について
- (4) 種苗法に基づく品種登録（育成者権）、地理的表示（GI）登録について
- (5) 弁理士紹介制度の現状報告について
- (6) 本会からの連絡事項として、「地域会からの通知等の送付先変更に関する規則改正」、「地域会における委員会等のハイブリッド乃至リアル開催の容認」、「民間業者が運営する弁理士マッチングサイトの問題」について説明

#### 【北陸会】

北陸会「正副会長と地域会会員との語る会」は、7月22日に実施されました。同日午前、石川県庁 商工労働部 産業政策課を訪問し、午後、語る会を実施した後、再度石川県庁を訪問し、石川県副知事と意見交換しました。

また、北陸会主催のイベント「知的財産フォーラム in 福井ー北陸新幹線開業と知財ー」が、11月18日に開催されました。このイベントでは、北陸新幹線開業をビジネスチャンスととらえ知的財産を活用した事業戦略を実践している経営者を招き、講演をしていただきました。さらに、JR西日本の関係者を招き、JR西日本の鉄道車両等に関する商品化権使用許諾について解説していただきました。

### 3. おわりに

本年度も早や9ヶ月経過する時期に差し掛かりましたが、会務活動に拍車をかけて残された期間を邁進したいと考えておりますので、引き続き弁理士連合クラブ会員の皆様からのご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げます。

## 今年一年を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長  
吉田 倫太郎

令和4年度弁理士連合クラブ副幹事長として拝命しておりました吉田倫太郎です。管掌は総務委員会と政策委員会となります。弁理士連合クラブ会則第19条には、委員会の職務が規定されておりまして、総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行うとあり、主として、事業全般の管理、予算全体の管理、幹事会や総会の準備と開催が職務となります。政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行うとあり、主として、弁理士会総会議案の事前検討や意見提出、他会派との政策調整や議論などが職務となります。令和4年度の総務委員会では、委員長に小國泰弘先生、副委員長に笹川拓先生に就任頂きました。政策委員会は、委員長に井澤幹先生、副委員長に野崎俊剛先生に就任頂きました。

令和4年度は、コロナ感染の発症数は依然として高いままでしたが、ワクチン接種が行き届き、前年に比べて重症化リスクが低くなったこともあり、少しずつでしたが、リアル会議も増えてきたと年でした。他方、ZoomやTeams（登録商標）等を活用したウェブ会議が定着し、アフターコロナ・ウィズコロナが本格化した年でもありました。2019年11月頃に中国国内でコロナウイルス感染症が発症したときには人命に関わる大変な事態が起こったことは理解できましたが対岸の火事として思っておりましたが、2020年1月頃以降、日本国内に感染が拡がっ

ていきました。その際、社会経済がコロナ前の状態に戻るまでには3年以上かかるという慎重な専門家の意見がありましたが、その通り将にその3年が経過しても完全には収束できてない年でした。

総務委員会では、会員の健康維持を第一に考え、3月24日に定時総会及び幹事会をウェブ会議で開催しました。その後、3回の臨時総会及び幹事会を開催し、日本弁理士会役員定時選挙立候補者の推薦、弁理士連合クラブ次年度役員を選任等の議案を諮りました。なお、今年度は、日本弁理士会や三派関連行事が少しずつ開催され、例えば春の役員慰労会・激励会は中止になりましたが、日弁旅行会や西弁旅行会も連合旅行会は無事に開催することができました。少しずつ直接人と会って意見交換する機会が増えていき、コミュニケーションをとることができました。

政策委員会につきまして、今年度は日本弁理士会会長候補選挙があり、日弁推薦の会長候補予定者である鈴木一永先生の政策説明会対応、政策内容の分析や議論を行いました。会長候補予定者の政策に関し、弁理士連合クラブの単位会派である弁ク、同友会に意見要望を行ない、各単位会派の意見に対する対応を行ないました。最終的には、弁理士連合クラブも共同推薦を機関決定し、その結果、無事無投票での当選となりました。今年は久しぶりに副会長選挙が投票選挙となり、弁理士連合クラブ推薦の瀧澤匡則先生、吉田倫太郎が当選いたしました。ちなみ

に、常議員選については2名の定員オーバーでしたので選挙になってしまう可能性もありましたが、弁理士連合クラブの中川裕幸幹事長、井上一役員協議委員会委員長、茜ケ久保公二副幹事長、弁理士クラブの権正英樹幹事長、弁理士同友会の田辺恵幹事長が、日弁側と強気な協議をして選挙を回避することができました。ご尽力いただいた先生方は短期間での難しい判断だったと存じますが感謝いたします。

今年度も残すところわずかとなりました。世界ではアフターコロナに加え、社会経済のパワーバランスが崩れ、ウクライナ紛争、食料・半導体製品の供給不足など不確定要素が顕在化しております。今後の日本は、得意とする科学・技術をベースに研究開発・産業を支え、経済に反映させることが期待できます。我々弁理士は、知財を通じて日本の経済産業をサポートする知恵と経験を持ち合わせています。来年以降、知恵と経験を結集して、この難局を乗り越えていくことを願っています。

末筆ですが、中川幹事長、茜ケ久保副幹事長、美川副幹事長におかれましては、難しい舵取りに迫られる局面も多々あったかと思います。ご苦勞に感謝申し上げます。また、会員の皆様の会務へのご協力に感謝しつつ、筆を置きたいと思います。



## ウィズコロナでの会務運営



弁理士連合クラブ副幹事長  
茜ヶ久保 公二

令和4年度弁理士連合クラブ副幹事長を仰せつかりました茜ヶ久保です。担当は、企画委委員会及び研修委員会です。

令和4年度は、コロナ禍であったものの3年ぶりに、各会派の旅行会が開催されました。依然として継続するコロナ禍であったため、各会派ともに、感染対策等に工夫をした旅行会となり、ある意味で本年度はニューノーマルな旅行会が確立された年といえるかもしれません。そこで、ここでは各会派の旅行会についてご紹介したいと思います。

まず、6月に日本弁理士クラブ（日弁）の旅行会が横浜で開催されました。観光・宴会・二次会・宿泊・翌日のゴルフとメニューは通常どおりの内容が並びましたが、場所柄、宴会のみの参加が可能であったり、宿泊がビジネスホテルで個室が基本になるなど、まさにニューノーマル旅行会の先駆けとなりました。これまでの旅行会は、旅館等で宴会から宿泊まですべてを行うスタイルでしたが、この旅行会では、宴会会場、二次会会場、宿泊施設がそれぞれ離れた箇所であったため、バスでの移動を伴うものとなりましたが、参加者が特に不便を感じることなく、存分に楽しむことができました。参加人数が100名を超える大きな旅行会となり、大変な盛り上がりでした。コロナ禍というまだまだ難しい状況にあって、このような旅行会が無事開催されましたのも、日弁の幹事の皆様の並々ならぬ努力と感じ、改めてこのような旅行会を開催して下さった日弁の

皆様に敬意を表したいと思います。

続いて、7月には、西日本弁理士クラブ（西弁）の旅行会が、京都で開催されました。西弁の旅行会においては、宴会は鴨川沿いの川床のオープンエアの会場で行われるとともに、宿泊はビジネスホテルであり、やはりコロナ対策を意識した旅行が企画されておりました。宴会・二次会会場・宿泊と移動を伴うものの、すべて徒歩圏内で移動できるコンパクトな企画となっております。オープンエアの川床の料亭で京料理を食らい、舞妓さんの踊りを楽しみ、河原町の街並みを移動するという盛沢山の内容で、旅行を楽しむことができました。こちらも、西弁の幹事の皆様の並々ならぬ努力と感じ、改めてこのような旅行会を開催して下さった西弁の皆様に敬意を表したいと思います。

そして、9月に、弁理士連合クラブ（連合）の旅行会を、金沢で開催いたしました。この旅行会には、日弁から29名、西弁から8名の先生方にご参加いただいたうえ、連合会員34名（弁ク19名、同友15名）が参加され、総勢70名強での旅行会となりました。

連合の旅行会においても、これまでの二会派の旅行会を倣い、宿泊はビジネスホテルで個室を原則とし、宴会・二次会はバスによる移動を伴う内容といたしました。連合の旅行会といえば、宴会前の研修会ですが、本年度は、弁理士同友会の谷口登先生にご登壇いただき「令和元年改正意匠法に基づく新た

な保護対象等についての『意匠登録例の紹介』及び『保護対象拡大に伴う新たなリスク』』という内容でご講演いただきました。研修会には、宴会前の早い時間にも関わらず、想定を超える45名の先生方に参加いただき、研修後の質疑応答も盛り上がり、大変素晴らしい研修会を開催することができました。そして、本旅行会においても、宴会・二次会と大変盛り上がり、参加いただいた先生方には金沢の香林坊の夜を存分にお楽しみいただけたものと思います。

そして、翌日は、通常どおり、観光とゴルフとに分かれて旅行を楽しみました。観光は、中川幹事長絶賛肝いりの企画、羽咋市にある宇宙科学博物館「コスモアイル羽咋」に向かいました。道中、日本で唯一、砂浜を自動車で行ける「千里浜なぎさドライブウェイ」を観光バスで通過しました。そして、コスモアイル羽咋では、旧ソ連の「ポストーク型帰還用宇宙カプセル(ゼニット偵察衛星)」を筆頭に、NASAから提供されたアポロやアポロの乗務員が着用した宇宙服などの実物を、参加者全員が興味深く鑑賞しました。コスモアイル羽咋ののちは、金沢に戻り、鉄板焼による昼食をいただき、金沢駅にて解散という大変盛り山な内容となり、参加の皆様からは、「楽しかった」というお言葉を多くいただくことができました。

旅行会の企画では、企画段階から細部にわたってご意見いただきました中川幹事長、企画委員長の小越一輝先生、2日目のゴルフコンペの開催について大変なご尽力をいただきました石川憲先生、当日に種々お手伝いをいただきました連合会員の皆様、そして、常に最適なプランをご提案くださいましたトラベルボックスの西村久司さんをはじめ、ご参加の皆様がこの場をかりて感謝申し上げます。

3年ぶりの3派旅行会を通じ、やはり会派内・会派間の交流において旅行会は必須であると感じました。ここまでの数年間、リアルにお会いし、会議の議題以外でのフリーなお話をする機会が非常に限られておりましたが、3派の旅行会において、3年分を一気に吹き飛ばすほどの交流ができたと感じます。そして、本年度に旅行会に参加された皆様はきっと

同じように感じられたものと思います。

冒頭にも記載しましたとおり、本年度は、旅行会の復活とともに、ウィズコロナの会務運営にふさわしいニューノーマルな旅行会の形が見出された年と感じております。次年度以降も、旅行会を通じ、会派内・会派間の交流を行い、弁理士会の効率的な会務運営を通じた弁理士会の更なる発展が図られますことを期待いたします。



## この一年を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長  
美川 公司

中川裕幸幹事長のもと、弁理士連合クラブの令和4年度副幹事長を務めました、弁理士クラブ所属の美川です。本年度は、副幹事長として、役員協議・調整を担当させていただきました。弁理士連合クラブ会員の皆様のご協力のおかげで一年間を過ごせましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

会員各位にはご承知の通り、今年度の会務は、二年以上経過したコロナ禍からの脱却を視野に入れつつ行われる必要がありました。具体的には、コロナ禍で必要に迫られた非接触／オンラインでのコミュニケーションの長所と短所を把握し、それを活かしつつ、いかに「コロナ禍前の活動」に戻していくか（「コロナ禍前の活動」と同様の効果を得ていくか）、を検討する必要が生じてきました。この点は、私が副所長を拝命しております日本弁理士会研修所の活動においても顕在化しております。

そして、このような状況下でも役員定時選挙は開催されるのであり、それに伴って連合の活動も徐々に活発になっていきました。本年度は、中川幹事長、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブの各幹事長が各種ツールを駆使して密に連絡を取ってくださった上で、役員定時選挙に向けて調整を進めて下さいました。お互いの信頼関係を前提として、オンライン及びオフラインでの密な関係を図って頂いたおかげで、役員定時選挙へ向け、三派が協力する体制が段階的に確立されていったものと考えます。これと並行して、夏以降は連合内の調整が頻繁に行われ、役員定時選挙のための弁理士クラブと弁理士同友会との調整が進められました。そうした活動の結果として、副会長選挙における弁理士クラブの瀧澤匡則先生及び弁理士同友会の吉田倫太郎を始めとして、連合からの候補者全員の無事の当選という成果が出

たものと考えております。

そしてなにより、今年度は、連合としての当選祝賀会が、本当に久し振りに、感染対策を施した上でのオフライン（リアル集合）形式で開催されました。個人的な感想にはなりますが、二年ぶりのリアル集合形式の祝賀会は、本当に楽しいものであり、やはり「顔を突き合わせて話をしつつ、意思疎通を図ること」の重要性やその心地よさを改めて実感した次第です。特に、この「心地よさ」については、何にも代えがたいと実感しました。

また、「リアル集合」の観点で言えば、旅行会が三派それぞれにリアル集合形式で行われたことも、感慨深いものがありました。「意思疎通と懇親」の観点では、やはりリアル集合に勝るものはありません。今後は、段階的にこのような機会が増えていくものと期待します。

一方で、この二年間の様々な検討及び実践により、オンラインによるコミュニケーションの長所が明らかになりました。例えば、遠方の会員同士が複数臨席した意思疎通が、距離的な制限なく気軽にできることが判ったことは、大きな成果であると考えます。今後は、「オンラインとオフラインそれぞれの、利点を活かした有効活用」が検討されるべきものと考えます。双方の利点が有効に融合できれば、これまでになかった成果を上げられるものと期待します。そして、次期会長である鈴木一永先生が掲げられている「ウイズコロナからアフターコロナへ」を、連合として支援していければと考える次第です。

この一年間のご協力に対して改めて感謝申し上げますと共に、今後とも、引き続いてのご協力をお願い申し上げます。

以上

## 令和4年度弁理士連合クラブのあゆみ

(2022.1. 1 ~ 2022.12.31)

総務委員会 委員長 小國 泰弘

- 令和4年 1月13日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 1月31日 日本弁理士会 次年度人事委員会
- 2月18日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 3月4日 日本弁理士会 定時総会（第1回）
- 3月4日 十派幹事長会
- 3月14日 機関誌『連合』第32号 発行及びホームページに掲載
- 3月16日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 3月24日 第1回幹事会、第1回定時総会（オンライン）  
令和3年度の事業報告及び会計報告、令和4年度の事業計画及び会計計画、  
人事報告
- 4月12日 三派説明会（令和4年度役員より）
- 5月24日 三派説明会（令和4年度役員より事前依頼）
- 5月27日 日本弁理士会 定時総会
- 6月18日  
～19日 日本弁理士クラブ旅行会（神奈川県・横浜）
- 6月27日 無名会100周年祝賀会（明治記念館）
- 7月2日 三派交流会・懇親会（第1回） Zoom
- 7月2日  
～3日 西日本弁理士クラブ旅行会（京都府・京都）
- 8月1日 日弁・政策説明会／意見交換（オンライン）
- 8月25日 第2回幹事会、第2回定時総会（オンライン）  
令和5年度日本弁理士会役員（副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦に  
ついて承認を求める件

- 9月1日 第3回幹事会、第1回臨時総会（オンライン）  
令和5年度日本弁理士会役員（会長）候補予定者の推薦について承認を求める件
- 9月14日 日本弁理士会役員選挙説明会
- 9月24日  
～25日 弁理士連合クラブ旅行会（石川県・金沢）
- 9月27日 令和5年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付・選挙運動開始
- 9月29日 令和5年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付終了
- 10月3日 第4回幹事会、第2回臨時総会（オンライン）  
令和5年度日本弁理士会役員（常議員）候補予定者の変更について承認を求める件（議案上程・議決なし）  
  
令和5年度日本弁理士会役員定時選挙 当選人の決定及び公示
- 11月10日 P A創立100周年記念式典出席
- 11月19日 第1回総務委員会（メール会議）
- 11月30日 第5回幹事会、第3回臨時総会  
令和5年度弁理士連合クラブ幹事長について承認を求める件  
連合主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会

## 総務委員会

委員長 小國 泰弘

### 1. 委員会の構成

委員長 小國 泰弘 (弁ク)  
副委員長 笹川 拓 (同友)  
担当副幹事長 吉田 倫太郎 (同友)

### 2. 職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行
- (2) 特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則改正の審議及び答申

### 4. 活動報告

- (1) 第1回幹事会及び第1回定時総会  
開催日時 令和4年3月24日(木)  
18:00~19:00  
場 所 中川国際特許事務所会議室  
ウェブ会議 (Zoom)  
議 案  
①第1号議案  
令和3年度弁理士連合クラブの事業報告について承認を求める件  
②第2号議案  
令和3年度弁理士連合クラブの会計報告について承認を求める件  
③第3号議案  
令和4年度弁理士連合クラブの事業計画について承認を求める件  
④第4号議案  
令和4年度弁理士連合クラブの会計計画について承認を求める件

- (2) 第2回定時総会及び第2回幹事会

開催日時 令和4年8月25日(木)

18:00~19:00

場 所 中川国際特許事務所会議室  
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

- ①第1号議案

令和5年度日本弁理士会役員(副会長・監事・常議員)候補予定者の推薦について承認を求める件

- (3) 第1回臨時総会及び第3回幹事会

開催日時 令和4年9月1日(木)

18:00~19:00

場 所 中川国際特許事務所会議室  
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

- ①第1号議案

令和5年度日本弁理士会役員(会長)候補予定者の推薦について承認を求める件

- (4) 第2回臨時総会及び第4回幹事会

開催日時 令和4年10月3日(月)

12:30~13:00

場 所 中川国際特許事務所会議室  
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

- ①第1号議案

令和5年度日本弁理士会役員(常議員)候補予定者の変更について承認を求める件

- (5) 第3回臨時総会及び第5回幹事会

開催日時 令和4年11月30日(水)

17:30~17:50

場 所 コートヤード・マリOTT銀座  
東武ホテル

議 案

- ①第1号議案

令和5年度弁理士連合クラブ役員を選任について承認を求める件

以上

## 企画委員会

委員長 小越 一輝

### 1. 委員会の構成

委員長 小越 一輝 (弁ク)  
副委員長 坂岡 範穂 (同友)  
委員 岩田 耕一 (弁ク)  
坂口 吉之助 (同友)  
担当副幹事長 茜ヶ久保 公二 (同友)

### 2. 職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関紙の編集、発行に関する事項を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
- (2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
- (3) 機関紙の発行
- (4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行
- (5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

### 4. 活動報告

- (1) 弁理士連合クラブ旅行会
  - 1) 令和4年度弁理士連合クラブ旅行会の下見  
令和4年7月11日(月)～12日(火)にかけて石川県、金沢市内を下見した。宴会場、研修会場、移動経路、観光の段取り等を確認した。
  - 2) 令和4年度弁理士連合クラブ旅行会の実施  
令和4年9月24日(土)～25日(日)にか

けて石川県金沢市「松魚亭」において開催した。研修講師1名を含め72名もの先生方の参加を得て、盛大に開催された。

- 3) 令和4年度弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会  
旅行会の2日目に「金沢セントラルカントリー倶楽部」において弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会を開催した。絶好のゴルフ日和であり、5組19名の参加を得た。

- 4) 令和4年度弁理士連合クラブ旅行会観光  
ゴルフ大会とは別に観光を手配した。28名の先生方が参加され、貸し切りバスを利用して、砂浜道路「千里浜渚ドライブウェイ」を車で走り、その後、宇宙科学博物館「コスモイル羽昨(はくい)」を見学した。アポロ司令船、ボイジャー惑星探査機など、ここでしか見られない本物の宇宙機材に触れることができた。

- (2) ホームページの維持、管理  
弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ(幹事長挨拶、組織図、年間行事など)のアップデートを行った。

- (3) 機関紙の発行  
令和5年2月末にホームページを通じて発行する予定である。

## 役員協議委員会

委員長 井上 一

### 1. 委員会の構成

委員長	井上 一	(弁ク)
副委員長	吉村 俊一	(同友)
委員	田辺 恵	(同友)
	大橋 剛之	(同友)
	関 大祐	(同友)
	権 正英 樹	(弁ク)
	潮 太朗	(弁ク)
担当副幹事長	美川 公司	(弁ク)

### 2. 職務権限

日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙活動の統括を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 令和5年度日本弁理士会役員選挙への対応及びその実行
- (2) 令和5年度日本弁理士会役員当選祝賀会の企画及びその実行

### 4. 活動報告

- (1) 6月16日付けの日本弁理士会選挙管理委員会発行の「令和5年度役員定時選挙の実施要領」を入手し、令和5年度役員選挙の日程を確認した。
- (2) 9月14日午後3時から日本弁理士会選挙管理委員会の選挙説明会に役員協議委員長等が出席し、選挙管理委員会から説明を聞くとともに、ガイドラインその他の資料を入手した。
- (3) 9月に各会派でガイドラインの説明会等を開催。
- (4) 幹事長及び担当副幹事長と相談の上、当選祝賀会の日程等を検討した。
- (5) 9月27日(火)に各会派毎に立候補届けを日本弁理士会に提出した。
- (6) 9月29日(木)午後5時過ぎに関東地区常議員を除き、立候補者数と定員が一致していること

を確認した。

この時点で、関東地区常議員を除き、弁理士連合クラブ推薦の候補者の当選が確定した。

- (7) 9月29日(木)午後7時から選挙対策委員会を開催し、連合推薦の関東地区常議員候補者6名全員の当選を目指すことが決定された。
- (8) 9月30日午前10時30分から日弁一連合の合同会議が開催された。連合は立候補撤回の意思がないこと、日弁は1名の立候補撤回を主張し、投票選挙回避の結論には至らなかった。連合は、日弁に対し、会長選出母体として投票選挙回避の努力をお願いして閉会となった。
- (9) 10月3日(月)午後5時過ぎに関東地区常議員についても立候補者数と定員が一致していることを確認。

この時点で弁理士連合クラブ推薦の候補者全員の当選が確定した。本年度は、当クラブ並びに日本弁理士クラブ及び西日本弁理士クラブが推薦する会長候補者が当選された。鈴木一永次期会長のご英断により、無名会の二名の候補者が立候補を撤回して、投票選挙は回避された。

### 弁理士連合クラブ推薦の当選者

会長	鈴木 一永	(無名)
副会長	瀧澤 匡則	(弁ク)
副会長	吉田 倫太郎	(同友)
監事	永井 義久	(弁ク)
常議員 (関東選挙区)		
	長 内 行 雄	(同友)
	櫻 田 賢	(弁ク)
	濱 田 百合子	(弁ク)
	須 山 英 明	(同友)
	荻 弥 生	(同友)

- (10) 他会派への当選祝賀会の案内状等の準備。
- (11) 11月30日（木）午後6時～8時に銀座コートヤード・マリオットホテルにて当選祝賀会を開催。約60名の参加者があり、当選祝賀会は盛大に行われた。



弁理士連合クラブ幹事長挨拶



当選者一同



日本弁理士会会長挨拶



日本弁理士クラブ幹事長挨拶



西日本弁理士クラブ幹事長挨拶



乾杯の音頭



中締め挨拶



閉会の辞

## 研修委員会

委員長 三浦康浩

### 1. 委員会の構成

委員長 三浦康浩 (弁ク)  
副委員長 谷口登 (同友)  
          永井望 (弁ク)  
委員 荻弥生 (同友)

### 2. 職務権限

研修委員会は、弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修を行い、会員の啓蒙を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修の開催（弁理士としてのスキルアップ用研修の開催）
- (2) その他、必要があれば、連合会員にとって有益な研修の開催

### 4. 活動報告

本年度は、前年度から続く、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、リアル会場での研修会の開催が困難な状況が続き、研修会の多くをオンライン形式で行って参りました。オンライン形式のメリットとしては、参加者がどこからでも研修会に参加できること、定員制限を設けなくてよいこと等です。このメリットにより本年度は、多くのご先生方が研修会にご参加くださいました。本年度開催した研修会の一部を抜粋して次のとおり報告いたします。

#### 1. テーマ「マルチマルチクレームの制限が実務に与える影響とその対応策」

講師：弁理士 田中宏明先生  
日時：令和4年3月31日（木）  
          午後7時～7時50分  
場所：オンライン講義（Zoomミーティングを使用したライブ配信研修）

#### 2. テーマ「AI技術の現状と課題

～aiboおよび自然言語処理～

講師：ソニーグループ株式会社  
          AI&ロボティクスBG  
          クラウドサービス開発部 藤原直樹先生  
日時：令和4年6月14日（火）  
          午後8時～午後9時  
場所：オンライン講義（Zoomミーティングを使用したライブ配信研修）

#### 3. テーマ「ファッションIPローの可能性

～IP Channeling戦略・政策という観点から～

講師：東京大学大学院法学政治学研究科教授  
          田村善之先生  
日時：令和4年11月16日（水）  
          午後6時30分～8時00分  
場所：オンライン講義（Zoomミーティングを使用したライブ配信研修）

#### 4. テーマ「法令（中国専利法、日本特許法施行規則等）改正による実務への影響」

講師：中国弁理士、日本弁理士 張華威先生、  
          弁理士 田中宏明先生  
日時：令和4年12月6日（火）  
          午後6時30分～午後8時  
場所：オンライン講義（Zoomミーティングを使用したライブ配信研修）

### 5. おわりに

研修委員会では、今後オンライン形式による研修会の開催を軌道に乗せつつ、周囲の状況に応じて集合形式についても環境を整え開催していく所存です。

## 第30回連合旅行会・ゴルフ大会

令和4年9月24日(土)～25日(日) 石川県金沢市 松魚亭 金沢セントラルカントリー倶楽部

# 2年ぶりの開催！ 金沢旅行会

企画委員長 小越 一輝



### はじめに

今年の連合旅行会は実に2年ぶりの開催となりました。新型コロナウイルスの先行きが見えないということもあり、旅行会の企画段階において、中川裕幸幹事長、茜ヶ久保公二副幹事長と綿密な検討を行いました。企画の段階で終息したかのように思えた感染者数も夏頃から急激に増加し、旅行会を実施するかどうか苦渋の決断が求められました。一時は開催自体危ぶまれましたが、何とか開催に持ち込み、幸いにも一人も感染者をだすことなく、無事に旅行会を終えることができましたことを、まずはご報告させていただきます。

今年の連合旅行会は9月24日(土)～25日(日)に石川県金沢市で開催しました。金沢市は、加賀百万石といわれるほど古くから栄えた都市でして、金沢城や兼六園など、古き良き建造物が数多く残る都市として知られています。また、日本海で採れた新鮮な海の幸が流通し、近江町市場は金沢の台所として地域の人から旅行客まで多くの人で賑わっています。参加者の中には、早めに現地入りして、近江

町市場や近くの名店で寿司や海鮮丼、日本酒などを楽しまれたと伺っています。

### 研修会

連合旅行会は、研修会で幕を開けます。研修会では、弁理士同友会の谷口登先生から「令和元年意匠法に基づく新たな保護対象等についての『意匠登録例の紹介』及び『保護対象拡大に伴うリスク』」についてご講演いただきました。私は受付等の対応もあり、残念ながら参加できませんでしたが、関心の高いテーマということもあって、総勢48名の先生方が参加され、講演の様子から皆様熱心に耳を傾けていたことが伺われます。



司会 茜ヶ久保先生



講師 谷口先生



## 懇親会

懇親会は、金沢卯辰山中腹にある海鮮料理「浅田屋松魚亭」で開催しました。研修会も同じく松魚亭の会議室をお借りしましたので、研修会終了後は、会議室で写真撮影を行い、その後、順次、宴会場へと移動していただきました。写真撮影から宴会場への移動まで、皆様のご協力によりスムーズに行うことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

写真撮影後は、いよいよ宴会のスタートです。まずは、弁理士連合クラブの中川裕幸幹事長によるご挨拶に始まり、ご来賓の日本弁理士会会長杉村純子先生、日本弁理士クラブ幹事長木戸良彦先生、西日本弁理士クラブ幹事長北原宏修先生からご挨拶を頂戴しました。そして乾杯は、弁理士クラブ相談役永井義久先生にご発声をいただきました。

乾杯の後は、コロナ禍ということもありまして、比較的静かに食事を召し上がっていただきました。食事については、地元金沢の食材をふんだんに使った山の幸に始まり、新鮮な刺身、お椀、天ぷらなど、食べきれないほどの豪華料理が次々に運ばれてきま

した。石川県といえば、手取川、菊姫、加賀鳶など、日本有数の酒蔵があり、食事と共に日本酒の方も堪能いただきました。また、中川幹事長からは、日本酒「遊穂」を差し入れていただきました。

数々の美味しい料理をいただきながら、各会派、年代関係なく会話を楽しみ、あっという間に中締めとなりました。宴会の中締めは弁理士連合クラブ相談役の石川憲先生にお言葉をいただき、最後の閉会の辞は弁理士連合クラブ副幹事長の吉田倫太郎先生にいただきました。

宴会の後は、バスに乗って香林坊にあるクラブハウスへ向かい、そこでカラオケを楽しみました。コロナ対策のため、壇上を設けてそちらで歌っていただくようにしました。最後はモーニング娘の「Loveマシン」で締め、曲に合わせて踊られる先生方もおり、大いに盛り上がりました。二次会は22時で終了となりましたが、その後は各自自由行動ということで、三軒目に行かれる先生方、翌日のゴルフに備えて早めにホテルに戻られる先生方、また、ホテル近くの日本酒バーに行かれる先生方、各々、楽しい時間を過ごされたようでした。



中川先生



杉村先生



木戸先生



北原先生



乾杯 永井先生



中締め 石川先生



閉会の辞 吉田先生



## 観光

二日目は、観光組、ゴルフ組に分かれて行動しました。

観光組は、28名もの先生から申し込みがあり、「千里浜渚ドライブウェイ～宇宙科学博物館 コスモアイル羽咋～浅田屋六角堂」と題し、金沢市から羽咋市までバスで移動して、石川県の自然、町おこし企画、食を満喫していただきました。

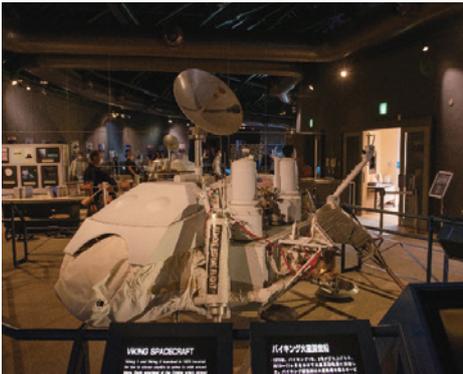
朝9時20分にホテルを出発し、貸し切りバスで、まずは千里浜渚ドライブウェイに向かいました。千里浜渚ドライブウェイは、全長約8キロメートルの砂浜を自動車（もちろん、バスも）で走行することができる、ちょっと変わったドライブウェイです。砂粒が細かく、適度に湿って引き締まっているため、四駆でなくても走ることができるようです。金沢に旅行された方でも、こちらまで足を延ばす機会がなく、なかなか貴重な体験ができたかと思います。

その後、羽咋市にある宇宙科学博物館「コスモア

イル羽咋」に向かいました。コスモアイル羽咋は、NASA（アメリカ航空宇宙局）の協力の下、マーキュリー宇宙船、アポロ司令船、ボイジャー惑星探査機など、ここでしか見られない本物の宇宙機材が多数展示されていました。ちなみに羽咋市では、昔からUFOが頻繁に目撃されていたようです。そんなことから、前日の宴会では、日本酒「優穂」（UFOにかけた）を提供させていただきました。皆様、本物の宇宙機材とあって真剣に見学されていたと伺っています。

宇宙科学博物館を見学した後は、金沢市内に戻り、前日の宴会と同じ系列の浅田屋六角堂で鉄板焼きを召し上がっていただきました。金沢は城下町ということもあり、食材に恵まれ、古くから味覚に対しては優れた感覚を育んできたことから、山の幸や肉に関しても、美味しいと評判です。ゲストの目の前で調理するスタイルも皆様に喜んでいただけたと伺っています。





## さいごに

コロナ禍ということもあり、心配事に尽きなかったとは思いますが、今年の連合旅行会にご参加くださいました皆様には、心からお礼を申し上げます。また、皆様には、不慣れな旅行会の準備と進行のため、色々ご不便とご迷惑をお掛けしたことと思います。この場を借りて、お詫び申し上げます。

旅行会の準備、運営にご尽力をいただきました、弁理士同友会の坂岡先生、大橋先生、関先生、弁理士クラブの張先生、池山先生には深く感謝しております。また、中川幹事長、茜ヶ久保副幹事長には旅行会の随所で明確な指針を示していただき、大変感謝しております。さらに、旅行会に深く関与していただきましたトラベルボックス西村様にもこの場をお借りして、深く御礼申し上げます。



# 9月25日<ゴルフ大会の部>

ゴルフ大会副幹事 小越 一輝



## 第30回連合旅行会・ゴルフ大会成績

令和4年9月25日(日)

於:金沢セントラルカントリー倶楽部

順位	氏名(敬称略)	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	GROSS 順位
優勝	田中 達也	41	43	84	10.8	73.2	1
準優勝	木戸 良彦	49	46	95	21.6	73.4	6
3位	久松 洋輔	46	43	89	13.2	75.8	2
4位	荻 弥生	48	52	100	24.0	76.0	11
5位	吉井 雅栄	43	47	90	13.2	76.8	3
6位	北原 宏修	55	47	102	25.2	76.8	14
7位	井上 誠一	50	49	99	21.6	77.4	8
8位	永井 義久	53	45	98	20.4	77.6	7
9位	香坂 薫	46	44	90	12.0	78.0	3
10位	永田 元昭	51	48	99	20.4	78.6	8
11位	小越 一輝	48	51	99	20.4	78.6	8
12位	宇治美知子	54	59	113	33.6	79.4	18
13位	長濱 範明	54	47	101	21.6	79.4	13
14位	井上 一	51	54	105	25.2	79.8	15
15位	坂本 智弘	44	47	91	10.8	80.2	5
16位	関 大祐	53	52	105	24.0	81.0	15
17位	石川 憲	49	51	100	16.8	83.2	11
18位	北村修一郎	51	54	105	21.6	83.4	15
19位	宗像 孝志	60	68	128	42.0	86.0	19

2年ぶりの弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会は、石川県金沢市にある「金沢セントラルカントリー倶楽部」で開催しました。今回は、19名と多くの方にご参加いただきました。

宿泊ホテルで朝食を済ませた後、貸し切りバスに乗り込み、元プロ野球選手松井秀喜の母校である星稜高校を横にゴルフ場へと向かいました。前日の晩、遅くまで飲まれた先生方もいたようでして、バスの中は静かでした(笑)。

当日は、穏やかな晴天で、風もなく、絶好のゴルフ日和となりました。OUTコース3組、INコース2組に分かれて、各コース同時にスタートし、新ペリア方式で順位を争いました。コースはと云いますと、卯辰山の丘陵地を利用した適度にアップダウンがあるコースで、特に印象に残っているのはINコース4番の左ドックレグです。ティーショットがナイスショットでも奥に突き抜けてロストの可能性があり、セカンドショットも目の前に大きな崖があり、非常にスリリングなホールでした。

さて、結果の方ですが、成績表をご覧ください。ベスグロの田中達也先生がそのまま僅差で優勝しました。送迎バスの都合上、パーティーは行わずクラブハウスのロビーラウンジの一角で簡単な表彰式を行いました。ゆっくりと食事やドリンクを楽しんでいただくことができず、申し訳ありませんでしたが、無事皆さま帰路につくことができ、なんとか幹事の役目を果たすことができました。

参加された先生方には、ご不便をおかけした点が多々ありましたが、ご理解とご協力をいただき、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。



# 令和4年度弁理士連合クラブ

役員・委員長・副委員長・委員

幹事長	中川 裕幸（弁ク）			
副幹事長	吉田倫太郎（同友）（総務、政策）			
	茜ヶ久保公二（同友）（企画、研修）			
	美川 公司（弁ク）（役協、調整）			
幹事	田辺 恵（同友）	大橋 剛之（同友）	関 大祐（同友）	高下 雅弘（同友）
	河合 利恵（同友）	瀧澤 匡則（弁ク）	今堀 克彦（弁ク）	梶 俊和（弁ク）
	河部 康弘（弁ク）	三浦 康浩（弁ク）	權正 英樹（弁ク）	小越 一輝（弁ク）
監事	小川 眞一（同友） 真田 修治（弁ク）			
相談役	原田 信市（同友）	吉田 芳春（同友）	菊池 新一（同友）	小川 眞一（同友）
	小池 晃（同友）	田辺 敏郎（同友）	古谷 史旺（同友）	丸山 英一（同友）
	石川 憲（同友）	小林 正治（同友）	粕川 敏夫（同友）	古谷 馨（弁ク）
	木下 實三（弁ク）	永井 義久（弁ク）	川久保新一（弁ク）	渡邊 一平（弁ク）
	山川 政樹（弁ク）	絹谷 信雄（弁ク）	伊藤 進（弁ク）	須山 佐一（弁ク）
	中島 淳（弁ク）	鈴木 知（弁ク）	山川 茂樹（弁ク）	山本 晃司（弁ク）
	塩野谷英城（弁ク）			

## 【総務委員会】

委員長 小國 泰弘（弁ク）  
副委員長 笹川 拓（同友）

## 【政策委員会】

委員長 井澤 幹（同友）  
副委員長 野崎 俊剛（弁ク）  
委員 古谷 史旺（同友） 小林 保（同友） 丸山 英一（同友） 山崎 高明（同友）  
松本 直子（同友） 船津 暢宏（弁ク） 山本 晃司（弁ク） 山川 茂樹（弁ク）  
絹谷 晴久（弁ク） 奥川 勝利（弁ク） 瀧澤 匡則（弁ク） 奥村 光平（弁ク）  
河部 康弘（弁ク）

【企画委員会】

委員長 小越 一輝 (弁ク)  
副委員長 坂岡 範穂 (同友)  
委員 坂口吉之助 (同友) 岩田 耕一 (弁ク)

【役員協議委員会】

委員長 井上 一 (弁ク)  
副委員長 吉村 俊一 (同友)  
委員 田辺 恵 (同友) 大橋 剛之 (同友) 関 大祐 (同友) 權正 英樹 (弁ク)  
潮 太朗 (弁ク)

【調整委員会】

委員長 長内 行雄 (同友)  
副委員長 船津 暢宏 (弁ク)  
委員 小林 保 (同友) 丸山 英一 (同友) 粕川 敏夫 (同友) 權正 英樹 (弁ク)  
潮 太朗 (弁ク)

【研修委員会】

委員長 三浦 康浩 (弁ク)  
副委員長 谷口 登 (同友)  
委員 荻 弥生 (同友) 永井 望 (弁ク)

# 弁理士連合クラブ歴代役員

## 【昭和62年度】

幹事長 山川政樹  
 副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎  
 幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦  
 菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄  
 土橋 皓 中畑 孝 中山 清  
 原田信市 古谷 馨 米屋武志  
 監事 佐々木秋市 丹波宏之  
 顧問 当分の間置かない

## 選挙対策委員会

委員長 佐々木功

## 【平成元年度】

幹事長 古谷 馨  
 副幹事長 佐々木功 佐藤孝雄 原田信市  
 幹事 磯野道造 菊池新一 絹谷信雄  
 志賀正武 下田容一郎 武田賢市  
 土橋 皓 中山 清 丹波宏之  
 古谷史旺 山川政樹 米屋武志  
 安達房次郎 須田孝一郎

## 【昭和63年度】

幹事長 山川政樹  
 副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎  
 幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦  
 菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄  
 土橋 皓 中畑 孝 中山 清  
 原田信市 古谷 馨 米屋武志  
 監事 佐々木秋市 丹波宏之  
 顧問 当分の間置かない  
 総務委員会  
 委員長 山元俊仁

## 総務委員会

委員長 須山佐一  
 副委員長 吉田精孝  
 委員 大原拓也 恩田浩宣 大貫和保  
 小倉正明 高橋康夫 田辺敏郎  
 仁平 孝 渡邊喜平

## 政策委員会

委員長 磯野道造  
 副委員長 小田治親  
 委員 黒川弘朗 竹内 裕 秋山 修  
 守谷一雄 須山佐一 木下實三  
 三澤正義 羽村行弘

## 政策委員会

委員長 原田信市  
 副委員長 守谷一雄  
 委員 天野 泉 黒田博道 紺野正幸  
 竹内 裕 竹山宏明 戸村 隆  
 松田雅章 真田修治

## 企画委員会

委員長 紺野正幸  
 副委員長 森 哲也  
 委員 大貫和保 黒田博道 田辺敏郎  
 辻 実 中山伸治 松田雅章  
 村田幹雄 渡邊喜平

## 企画委員会

委員長 唐木浄治  
 副委員長 木村高久  
 委員 山崎輝緒 齋藤美晴 佐藤幸男  
 渡部敏彦 古谷史旺 大津洋夫  
 小林正治 今野耕哉

## 選挙対策委員会

委員長 丹羽宏之

【平成 2 年度】

幹事長 佐々木功  
副幹事長 菊池新一 佐藤孝雄 下田容一郎  
天野 泉 小池 晃 絹谷信雄  
木下實三 紺野正幸 志賀正武  
土橋 皓 中畑 孝 中山 清  
原田信市 山川政樹 米屋武志  
監 事 秋本正實 武田賢市

総務委員会

委員長 小林正治  
副委員長 山崎輝緒  
委員 加藤和詳 五十嵐和壽 木村高久  
竹山宏明 齋藤美晴 本田 崇  
仁平 孝 羽村行弘

政策委員会

委員長 下田容一郎  
副委員長 坂口信昭  
委員 秋元芳雄 飯田昭夫 積田輝正  
中島 淳 原田信市 三澤正義  
守谷一雄 山元俊仁

企画委員会

委員長 吉田精孝  
副委員長 渡部敏彦  
委員 唐木浄治 黒田博道 桑原 稔  
永井義久 仁科勝史 松田雅章  
本宮照久 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 絹谷信雄

【平成 3 年度】

幹事長 菊池新一  
副幹事長 米屋武志 下田容一郎 佐藤孝雄  
幹 事 天野 泉 磯野道造 絹谷信雄  
志賀正武 武田賢市 土橋 皓  
中島 淳 中山 清 原田信市  
古谷史旺 山川政樹 山元俊仁  
監 事 小田治親 佐々木功

総務委員会

委員長 吉田精孝  
副委員長 木村高久

委 員 井上誠一 桑原 稔 坂本光雄  
富田和子 羽村行弘 森正 澄  
八 鍬 昇 渡部敏彦

政策委員会

委員長 中島 淳  
副委員長 坂口信昭  
委 員 五十嵐和壽 伊藤 進 大賀眞司  
黒田博道 今野耕哉 竹内 裕  
三澤正義 紺野正幸

企画委員会

委員長 黒川弘朗  
副委員長 齋藤美晴  
委 員 秋山 修 北村 仁 小林正治  
竹山宏明 鳥羽 修 山口邦夫  
吉田芳春 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 佐藤孝雄  
副委員長 天野 泉  
委 員 大塚明博 木下實三 下田容一郎  
須山佐一 永井義久 中澤健二  
中畑 孝 中山伸治

【平成 4 年度】

幹事長 原田信市  
副幹事長 志賀正武 絹谷信雄 中島 淳  
幹 事 伊藤 進 菊池新一 木下實三  
佐藤孝雄 下田容一郎 須山佐一  
田辺敏郎 戸村 隆 古谷史旺  
山崎輝緒 山本彰司 米屋武志  
監 事 磯野道造 紺野正幸

総務委員会(担当 中島)

委員長 黒川弘朗  
副委員長 永井義久  
委 員 大島陽一 小川利春 高橋康夫  
平山一幸 小倉正明 坂本光雄  
竹山宏明 山本義明

政策委員会(担当 志賀)

委員長 佐藤孝雄  
副委員長 戸村 隆  
委 員 内田和男 紺野正幸 齋藤美晴  
守谷一雄 天野 泉 今野耕哉

坂口信昭 本田 崇

企画委員会(担当 絹谷)

委員長 吉田芳春  
副委員長 関口俊三  
委員 川久保新一 富田和子 牧野剛博  
村上光司 井澤 洵 鈴木次郎  
西浦嗣晴 米山淑幸

選挙対策委員会(担当 原田)

委員長 中島 淳  
副委員長 竹内 裕  
委員 仁平 孝 松山圭佑 山田明信  
渡邊喜平 大塚明博 田辺敏郎  
古谷史旺 米屋武志

【平成 5 年度】

幹事長 絹谷信雄  
副幹事長 磯野道造 武田賢市 中島 淳  
幹事 (桜門) 井澤 洵 田辺敏郎  
森哲也 大橋 弘  
山本彰司 小池 晃  
(弁ク) 伊藤 進 木下實三  
木村高久 佐藤孝雄  
仁平 孝 山崎輝緒  
監事 吉田精孝 中山 清

総務委員会(担当 磯野道造)

委員長 仁平 孝  
副委員長 今野耕哉  
委員 (桜門) 羽村行弘 大塚明博  
土川 晃 坂本光雄  
(弁ク) 川久保新一 富田和子  
油井 透 村上光司

政策委員会(担当 中島 淳)

委員長 天野 泉  
副委員長 渡邊喜平  
委員 (桜門) 中山伸治 坂口信昭  
黒川弘朗 川村恭子  
(弁ク) 黒田博道 笹井浩毅  
遠山 勉 西森浩司

企画委員会(担当 武田賢市)

委員長 木村高久  
副委員長 秋山 修

委員 (桜門) 長内行雄 飯田昭夫  
仁科勝史 吉田芳春  
(弁ク) 佐藤孝雄 布施行夫  
真田修治 石橋佳之夫

選挙対策委員会(担当 絹谷信雄)

委員長 唐木浄治  
副委員長 守谷一雄  
委員 (桜門) 恩田博宣 本田 崇  
古谷史旺 森哲也  
(弁ク) 三澤正義 内田和男  
山田明信 石川泰男

【平成 6 年度】

幹事長 米屋武志  
副幹事長 天野 泉 守谷一雄 木下實三  
幹事 (弁ク) 木村高久 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
三澤正義 永井義久  
(同友) 森 哲也 大橋 弘  
黒川弘朗 小池 晃  
吉田精孝 小林正治  
監事 (弁ク) 小田治親  
(同友) 山本彰司

総務委員会(担当 守谷一雄)

委員長 田中雅雄(同友)  
副委員長 黒田博道(弁ク)  
委員 (弁ク) 原田 寛 北村 仁  
渡邊一平 井上 一  
(同友) 今野耕哉 小倉正明  
本田 崇 竹山宏明

政策委員会(担当 天野 泉)

委員長 木下實三(弁ク)  
副委員長 古谷史旺(同友)  
委員 (弁ク) 佐藤孝雄 紺野正幸  
真田修治 齋藤美晴  
(同友) 天野 泉 坂口信昭  
大塚明博 吉田芳春

企画委員会(担当 木下實三)

委員長 秋山 修(同友)  
副委員長 永井義久(弁ク)  
委員 (弁ク) 渡部敏彦 川久保新一  
布施行夫 関口宗昭

(同友) 米山叔幸 旦 武尚  
羽村行弘 桑原 稔

選挙対策委員会(担当 天野 泉)

委員長 三澤正義(弁ク)  
副委員長 中澤健二(同友)  
委員 (弁ク) 村田幹夫 牛木 護  
石川泰男 半田昌男  
(同友) 積田輝正 中山伸治  
本宮照久 飯田昭夫

連絡協議特別委員会(担当 米屋武志)

委員長 仁平 孝(弁ク)  
副委員長 井澤 洵(同友)  
委員 (弁ク) 中島 淳 黒田博道  
(同友) 菊池新一 吉田精孝

【平成7年度】

幹事長 佐藤孝雄(弁ク)  
副幹事長 小池 晃(同友)  
古谷史旺(同友)  
伊藤 進(弁ク)  
幹事 (同友) 井澤 洵 田中雅雄  
田辺敏郎 中山伸治  
羽村行弘 吉田精孝  
(弁ク) 須山佐一 中島 淳  
永井義久 仁平 孝  
三澤正義 守谷一雄  
監事 (同友) 積田輝正  
(弁ク) 土橋 皓

総務委員会(担当 小池 晃)

委員長 石川泰男(弁ク)  
副委員長 小林 保(同友)  
委員 (同友) 伊賀誠司 長内行雄  
花村 太 山本義明  
(弁ク) 井上誠一 黒田 壽  
塩田辰也 西森浩司

政策委員会(担当 古谷史旺)

委員長 小倉正明(同友)  
副委員長 齋藤美晴(弁ク)  
委員 (同友) 田村榮一 仁科勝史  
本田 崇 森 哲也  
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸  
服部雅紀 松田雅章

企画委員会(担当 伊藤 進)

委員長 井上 一(弁ク)  
副委員長 磯野道造(同友)  
委員 (同友) 大貫和保 桑原 稔  
中村盛夫 米山淑幸  
(弁ク) 関口宗昭 佐藤年哉  
保立浩一 山口邦夫

選挙対策委員会(担当 佐藤孝雄)

委員長 中澤健二(同友)  
副委員長 守谷一雄(弁ク)  
委員 (同友) 秋山 修 天野 泉  
大塚明博 山田智重  
(弁ク) 遠山 勉 木下實三  
渡邊一平 渡邊喜平

【平成8年度】

幹事長 小池 晃(同友)  
副幹事長 須山佐一(弁ク) (政策・弁ク担当)  
三澤正義(弁ク) (総務・人事担当)  
大橋 弘(同友) (企画・同友担当)  
幹事 (弁ク) 下田容一郎 木村高久  
伊藤 進 紺野正幸  
木下實三 黒田博道  
(同友) 恩田博宣 古谷史旺  
坂口信昭 本田 崇  
小林正治 田中雅雄  
監事 山元俊仁(弁ク) 吉田精孝(同友)  
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 佐藤孝雄  
(同友) 田中武文 原田信市  
佐々木功 菊池新一  
米屋武志

総務委員会(担当 三澤正義)

委員長 秋山 修(同友)  
副委員長 真田修治(弁ク)  
委員 (弁ク) 西森浩司 川久保新一  
井上 一 保立浩一  
(同友) 中里浩一 桑原 稔  
神崎正浩 米山叔幸

政策委員会(担当 須山佐一)

委員長 伊藤 進(弁ク)

副委員長 仁科勝史(同友)  
委員 (弁ク) 仁平 孝 北村 仁  
青木輝男 遠山 勉  
(同友) 森哲 也 小林 保  
五十嵐和壽 羽村行弘

佐々木功 菊池新一  
米屋武志 小池 晃

企画委員会(担当 大橋 弘)  
委員長 坂本光雄(同友)  
副委員長 井上誠一(弁ク)  
委員 (弁ク) 紺野正幸 岡本啓三  
開口宗昭 黒田 壽  
(同友) 大貫和保 中村盛夫  
中村和年 旦 武尚

総務委員会(担当 竹内 裕)  
委員長 川久保新一(弁ク)  
副委員長 米山淑幸(同友)  
委員 (弁ク) 井上誠一 加藤和詳  
黒田 壽 笹井浩毅  
(同友) 秋山 修 桑原 稔  
菊池 徹 中村信彦

研修委員会(担当 大橋 弘)  
委員長 高月 猛(同友)  
副委員長 井上 一(弁ク)  
委員 (弁ク) 中川裕幸 伊藤嘉昭  
(同友) 本田 崇 山田智重

政策委員会(担当 永井義久)  
委員長 吉田精孝(同友)  
副委員長 内田和男(弁ク)  
委員 (弁ク) 紺野正幸 布施行夫  
保立浩一 三品岩男  
(同友) 大塚明博 仁科勝史  
小倉正明 飯田昭夫

選挙対策委員会(担当 小池 晃)  
委員長 木下實三(弁ク)  
副委員長 中山伸治(同友)  
委員 (弁ク) 土橋 皓 渡邊一平  
黒田博道 山口邦夫  
(同友) 黒川弘朗 八鍬 昇  
小倉正明 伊賀誠司

企画委員会(担当 田辺敏郎)  
委員長 西森浩司(弁ク)  
副委員長 長内行雄(同友)  
委員 (弁ク) 青木輝男 石橋佳之夫  
世良和信 山口邦夫  
(同友) 坂本光雄 旦 武尚  
小川眞一 松下 満

## 【平成9年度】

幹事長 木下實三(弁ク)  
副幹事長 竹内 裕(同友)  
(総務・10周年(主)担当)  
田辺敏郎(同友)  
(企画・研修・10周年担当)  
永井義久(弁ク)  
(政策・選対・10周年担当)  
幹事 (弁ク) 石川泰男 黒田博道  
紺野正幸 須山佐一  
中島 淳 三澤正義  
(同友) 秋山 修 大塚明博  
大貫和保 小倉正明  
坂本光雄 中澤健二  
監事 丹羽宏之(弁ク) 羽村行弘(同友)  
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 佐藤孝雄  
(同友) 田中武文 原田信市

選挙対策委員会(担当 永井義久)  
委員長 中山伸治(同友)  
副委員長 伊藤 進(弁ク)  
委員 (弁ク) 黒田博道 齋藤美晴  
須山佐一 渡邊喜平  
(同友) 吉田芳春 黒川弘朗  
神崎正浩 藤井稔也

研修委員会(担当 田辺敏郎)  
委員長 石川泰男(弁ク)  
副委員長 中里浩一(同友)  
委員 (弁ク) 井上 一 木村高明  
塩田辰也 遠山 勉  
(同友) 大塚明博 小林 保  
西野茂美 大賀眞司

10周年記念事業実行委員会  
(担当 竹内裕(主)、田辺敏郎、永井義久)  
委員長 天野 泉(同友)  
副委員長 (弁ク) 井上誠一 内田和男

委員 (同友) 須山佐一 遠山 勉  
油井 透  
唐木浄治 積田輝正  
羽村行弘 吉田芳春  
(同友) (同友) 青木輝男 伊藤 進  
大島陽一 木村高久  
黒田博道 黒田 壽  
齋藤美晴 笹井浩毅  
下田容一郎 中島 淳  
中山 清 服部雅紀  
布施行夫 三澤正義  
山口邦夫  
(同友) 井澤 洵 大橋 弘  
大塚明博 菊池 徹  
坂本光雄 坂口信昭  
丸山英一 田中雅雄  
旦武 尚 中澤健二  
古谷史旺 山本彰司  
山田智重 吉田精孝  
米山淑幸

総務委員会(担当：須山佐一)  
委員 長 小倉正明(同友)  
副委員長 渡邊一平(同友)  
委員 (同友) 清水敬一 中村盛夫  
旦 武尚 伊賀誠司  
(同友) 山口邦夫 井上誠一  
下田 茂 内田和男

政策委員会(担当：吉田精孝)  
委員 長 中島 淳 (同友)  
副委員長 小林正治 (同友) 笹井浩毅(同友)  
委員 (同友) 青木輝夫 山口邦夫  
黒田 壽 大橋邦彦  
布施行夫 保立浩一  
半田昌男 阪本清孝  
藤野清規 原田 寛  
(同友) 伊賀誠司 小倉正明  
恩田博宣 唐木浄治  
小池 晃 清水敬一  
旦 武尚 原田信市  
古谷史旺 米山淑幸

【平成10年度】

(監事兼任) (同友) 井澤 洵 中澤健二  
本田 崇 小川眞一  
五十嵐和壽  
(同友) 小田治親 伊藤 進  
仁平 孝 真田修治  
渡邊喜平 井上 一

幹事 長 田辺敏郎(同友)  
副幹事長 吉田精孝(同友)  
(政策、役員協議担当)  
木村高久(同友)  
(企画、研修担当)  
須山佐一(同友)  
(総務、渉外関係担当)

企画委員会(担当：木村高久)  
委員 長 大塚明博(同友)  
副委員長 小川利春(同友)  
委員 (同友) 長内行雄 小林 保  
坂本光雄 羽村行弘  
(同友) 石橋佳之夫 牧 哲郎  
渡部敏彦 西森浩司

幹事 (同友) 小林正治 井澤 洵  
中澤健二 本田 崇  
小川眞一 五十嵐和壽  
(同友) (同友) 小田治親 伊藤 進  
仁平 孝 真田修治  
渡邊喜平 井上 一

役員協議委員会(担当：吉田精孝)  
委員 長 守谷一雄(同友)  
副委員長 羽村行弘(同友)  
委員 (同友) 三澤正義 小田治親  
岡本啓三 高橋康夫  
木下實三 真田修治  
(同友) 古谷史旺 唐木浄治  
大貫和保 仁科勝史  
中山伸治

監事 土橋 皓 (同友) 大橋 弘 (同友)

相談役 (同友) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 佐藤孝雄  
木下實三  
(同友) 田中武文 原田信市  
佐々木功 菊池新一  
米屋武志 小池 晃

研修委員会(担当：木村高久)  
委員 長 大貫和保(同友)

副委員長 柿本恭成(弁ク)  
委 員 (同友) 小川眞一 鈴木利明  
丸山英一 中村信彦  
(弁ク) 石川泰男 島田康男  
古谷 聡 堤 卓

再選挙に関する特別委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)  
副委員長 守谷一雄(弁ク) 羽村行弘(同友)  
委 員 (弁ク) 三澤正義 小田治親  
岡本啓三 高橋康夫  
真田修治  
(同友) 古谷史旺 唐木浄治  
大貫和保 仁科勝史  
中山伸治

[平成11年度]

[幹事会]

幹 事 長 須山佐一(弁ク)  
副幹事長 井澤 洵(同友)  
(企画、研修担当)  
小林正治(同友)  
(政策、役員協議担当)  
永井義久(弁ク)  
(総務、渉外関係担当)

幹 事(政策委員兼任)

(同友) 大橋 弘 黒川弘朗  
坂口信昭 森 哲也  
羽村行弘 吉田芳春  
(弁ク) 伊藤 進 小田治親  
仁平 孝 渡邊喜平  
川久保新一 内田和男

監 事 田中武文(同友) 土橋 皓(弁ク)

[相談役会]

相談役  
(幹事長経験者)

山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク)  
佐々木功(同友) 菊池新一(同友)  
原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク)  
米屋武志(同友) 佐藤孝雄(弁ク)  
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)  
田辺敏郎(同友)

(弁理士会会長経験者)

田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
(弁理士会常議員会議長経験者)  
山元俊仁(弁ク) 天野 泉(同友)

総務委員会(担当 永井義久)

委 員 長 井上 一(弁ク)  
副委員長 菊池 徹(同友)  
委 員 (弁ク) 青木輝男 井上誠一  
尾関伸介 笹井浩毅  
(同友) 羽切正治 中村信彦  
山木義明 崔 秀喆

政策委員会(担当 小林正治)

委 員 長 小池 晃(同友)  
{9月以降：古谷 史旺(同友)}  
副委員長 大橋邦彦(弁ク)  
中澤健二(同友)

委員(幹事兼任)

(同友) 新井 全 飯田昭夫  
伊賀誠司 竹内 裕  
松下 満 吉田精孝  
(弁ク) 井上誠一 北村 仁  
黒田 壽 三澤正義  
山名正彦

企画委員会(担当 井澤 洵)

委 員 長 山口邦夫(弁ク)  
副委員長 杉本良夫(同友)  
委 員 (弁ク) 岡本啓三 亀谷美明  
布施行夫 渡部敏彦  
(同友) 本宮照久 神崎正浩  
高尾裕之 青山 仁

役員協議委員会(担当 小林正治)

委 員 長 原田信市(同友)  
副委員長 内田和男(弁ク)  
天野 泉(同友)  
委 員 (同友) 五十嵐和壽 小川眞一  
竹内 裕 中山伸治  
(弁ク) 川久保新一 木村高久  
紺野正幸 仁平 孝  
原田 寛 守谷一雄  
山川政樹

調整委員会(担当 永井義久)

委 員 長 古谷史旺(同友)  
副委員長 三澤正義(弁ク)

委員 (同友) 菊池新一 原田信市  
森 哲也 山本彰司  
(弁ク) 絹谷信雄 下田容一郎  
中山 清 守谷一雄

研修委員会(担当 井澤 洵)

委員長 保立浩一(弁ク)  
副委員長 五十嵐和壽(同友)  
委員 (弁ク) 堤 卓 長岡 重幸  
廣田浩一 油井 透  
(同友) 山田智重 中里浩一  
米山叔幸 藤井稔也

【平成12年度】

[幹事会]

幹事長 古谷史旺(同友)  
副幹事長 仁平 孝(弁ク)  
(政策、役員協議担当)  
真田修治(弁ク)  
(企画、研修担当)  
坂口信昭(同友)  
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 内田和男 井上 一  
中島 淳 渡邊一平  
土橋 皓 永井義久  
(同友) 大貫和保 大塚明博  
本田 崇 小倉正明  
羽村行弘 田中雅雄

監事 積田輝正(同友) 原田 寛(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)  
菊池新一(同友) 原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク)  
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)  
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)

総務委員会

委員長 坂本光雄(同友)  
副委員長 黒田 壽(弁ク)  
委員 (弁ク) 山本晃司 伊藤嘉昭  
尾川秀昭 石崎 剛  
(同友) 大塚明博 山木義明  
菊池 徹 崔 秀喆

政策委員会

委員長 木下實三(弁ク)  
副委員長 本田 崇(同友)  
世良和信(弁ク)  
委員 (同友) 竹内 裕 中澤健二  
秋山 修 小林正治  
吉田芳春 小倉正明  
松下 満 崔 秀喆  
(弁ク) 伊藤 進 齋藤美晴  
亀谷美明 川久保新一  
保立浩一 布施行夫

役員協議委員会

委員長 下田容一郎(弁ク)  
副委員長 小林正治(同友)  
井上 一(弁ク)  
委員 (同友) 原田信市 黒川弘朗  
高野昌俊 西野茂美  
本宮照久  
(弁ク) 永井義久 紺野正幸  
小田治親 青木輝夫  
北村 仁

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)  
副委員長 山本彰司(同友)  
委員 (弁ク) 絹谷信雄 木村高久  
守谷一雄 須山佐一  
(同友) 中山伸治 菊池新一  
森 哲也 天野 泉

研修委員会

委員長 山田智重(同友)  
副委員長 木村高久(弁ク)  
委員 (弁ク) 堤 卓 高島敏郎  
友野英三 坂本清孝  
(同友) 中村信彦 青山 仁  
高田大輔 高尾裕之

企画委員会

委員長 長内行雄(同友)  
副委員長 柿本恭成(弁ク)  
委員 (同友) 杉本良夫 伊賀誠司  
丸山英一 山崎高明  
(弁ク) 廣田浩一 佐藤年哉  
富澤 孝 金坂憲幸

【平成13年度】

幹事長 中島 淳(弁ク)  
副幹事長 本田 崇(同友)  
(政策、研修担当)  
山本彰司(同友)  
(企画、役員協議担当)  
伊藤 進(弁ク)  
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 中山 清 仁平 孝  
笹井浩毅 内田和男  
大橋邦彦 布施行夫  
(同友) 唐木浄治 丸山英一  
山崎高明 五十嵐和壽  
森 哲也 中山伸治

監事 黒川弘朗(同友) 富田和子(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)  
菊池新一(同友) 原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)  
佐藤孝雄(弁ク) 小池 晃(同友)  
木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)  
須山佐一(弁ク) 古谷史旺(同友)

総務委員会  
委員長 保立浩一(弁ク)  
副委員長 中村盛夫(同友)  
委員 (弁ク) 尾川秀昭 阪本清孝  
廣田浩一 山本晃司  
(同友) 中里浩一 松下 満  
藤井稔也 山木義明

政策委員会  
委員長 磯野道造(同友)  
副委員長 齋藤美晴(弁ク) 羽村行弘(同友)  
委員 (弁ク) 柿本邦夫 黒田勇治  
仁平 孝 平山一幸  
三谷 恵 三澤正義  
山川茂樹  
(同友) 五十嵐和壽 坂口信昭  
竹内 裕 田辺敏郎  
中澤健二 森 哲也

役員協議委員会

委員長 吉田精孝(同友)  
副委員長 守谷一雄(弁ク) 吉田芳春(同友)  
委員 (弁ク) 小田治親 柿本恭成  
北村 仁 木下實三  
紺野正幸  
(同友) 内藤嘉昭 佐々木功  
古谷史旺 仁科勝史  
長内行雄

調整委員会

委員長 中澤健二(同友)  
副委員長 木村高久(弁ク)  
委員 (弁ク) 須山佐一 真田修治  
永井義久 渡邊一平  
(同友) 天野 泉 小林正治  
中畑 孝 志賀正武

研修委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)  
副委員長 菊池 徹(同友)  
委員 (弁ク) 石川泰男 堀 城之  
富澤 孝 木村高明  
(同友) 山田智重 杉本良夫  
旦 武尚 青山 仁

企画委員会

委員長 黒田 壽(弁ク)  
副委員長 川俣静子(同友)  
委員 (弁ク) 金坂憲幸 佐藤年哉  
友野英三 岡本啓三  
(同友) 高野昌俊 竹山宏明  
崔 秀喆 谷口 登

【平成14年度】

幹事長 小林正治(同友)  
副幹事長 森 哲也(同友)  
(総務、調整、渉外関係担当)  
内田和男(弁ク)  
(企画、研修担当)  
川久保新一(弁ク)  
(政策、役員協議担当)

幹事 (弁ク) 山川政樹 牧 哲郎  
青木輝夫 布施行夫

亀谷美明 保立浩一  
(同友) 中山伸治 唐木浄治  
清水敬一 山本義明  
白崎真二 宮坂 徹

仁平 孝 柿本恭成  
黒田 壽  
(同友) 原田信市 黒川弘朗  
山本彰司 古谷史旺  
内藤嘉昭

監 事 中山 清(弁ク)仁科勝史(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)  
菊池新一(同友)原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)  
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)  
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)  
須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友)  
中島 淳(弁ク)

#### 総務委員会

委 員 長 五十嵐和壽(同友)  
副委員長 中川裕幸(弁ク)  
委 員 (弁ク) 柿本邦夫 山本晃司  
廣田浩一 佐原雅史  
(同友) 中村盛夫 松田克治  
秋元芳雄 長内行雄

#### 企画委員会

委 員 長 川俣静子(同友)  
副委員長 山口義雄(弁ク)  
委 員 (弁ク) 大淵美千栄 坂本清孝  
金坂憲幸 金井英幸  
(同友) 竹山宏明 崔 秀喆  
広瀬 一 谷口 登

#### 政策委員会

委 員 長 永井義久(弁ク)  
副委員長 坂口信昭(同友)  
委 員 (弁ク) 伊藤 進 木下實三  
齋藤美晴 井上 一  
山川茂樹 友野英三  
(同友) 田辺敏郎 中澤健二  
本田 崇 大塚明博  
高野昌俊 小倉正明

#### 役員協議委員会

委 員 長 伊藤 進(弁ク)  
副委員長 中村盛夫(同友)  
委 員 (弁ク) 下田容一郎 紺野正幸

#### 研修委員会

委 員 長 長内行雄(同友)  
副委員長 世良和信(弁ク)  
委 員 (弁ク) 鈴木 知 山本 尚  
美濃好美 塩野谷英城  
(同友) 五十嵐和壽 伊賀誠司  
丸山英一 杉本良夫

#### 調整委員会

委 員 長 須山佐一(弁ク)  
副委員長 磯野道造(同友)  
委 員 (弁ク) 中山 清 絹谷信雄  
木村高久 中島 淳  
(同友) 佐々木功 中村政美  
積田輝正 大貫和保

#### 【平成15年度】

幹 事 長 伊藤 進(弁ク)  
副幹事長 中澤健二(同友)  
(政策、調整担当)  
飯田昭夫(同友)  
(企画、研修担当)  
渡邊一平(弁ク)  
(総務、役員協議、渉外担当)

幹 事 (同友) 中山伸治 大塚明博  
中村盛夫 伊賀誠司  
旦 武尚 高尾裕之  
(弁ク) 牧 哲郎 山崎輝緒  
真田修治 北村 仁  
井上誠一 阪本清孝

監 事 松田克治(同友)木村高久(弁ク)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)  
菊池新一(同友)原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)  
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)  
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)  
小林正治(同友)

総務委員会

委員長 齋藤美晴(弁ク)  
副委員長 松下 満(同友)  
委員 (同友) 神崎正浩 花村 太  
粕川敏夫 井澤 幹  
(弁ク) 鈴木 知 中川裕幸  
柿本邦夫 石崎 剛

企画委員会

委員長 本宮照久(同友)  
副委員長 水野 清(弁ク)  
委員 (同友) 長内行雄 新井 全  
小島 猛 西 和哉  
(弁ク) 内田和男 小川利春  
金坂憲幸 美濃好美

政策委員会

委員長 吉田芳春(同友)  
副委員長 永井義久(弁ク)  
委員 (同友) 磯野道造 小池 晃  
坂口信昭 原田信市  
竹内 裕 本田 崇  
且 武尚 青山 仁  
(弁ク) 大橋邦彦 中島 淳  
三澤正義 井上 一  
保立浩一 服部雅紀  
今井孝弘

役員協議委員会

委員長 永井義久(弁ク)  
副委員長 杉本良夫(同友)  
黒田 壽(弁ク)  
委員 (同友) 天野 泉 大塚明博  
中村盛夫 松原 等  
(弁ク) 仁平 孝 川久保新一  
布施行夫 山川茂樹  
山本晃司

研修委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)  
副委員長 大賀眞司(同友)  
委員 (同友) 林 信之 高野昌俊  
石川 憲 中原文彦

(弁ク) 鈴木健治 佐原雅史  
西康二郎 田中ひろみ

調整委員会

委員長 天野 泉(同友)  
副委員長 中山 清(弁ク)  
委員 (同友) 吉田精孝 本田 崇  
山本彰司 磯野道造  
(弁ク) 絹谷信雄 土橋 皓  
紺野正幸 小田治親

【平成16年度】

幹事長 磯野道造(同友)  
副幹事長 須山佐一(弁ク)  
(研修、企画担当)  
永井義久(弁ク)  
(政策、調整担当)  
五十嵐和壽(同友)  
(総務、役員協議、渉外担当)

幹事 (弁ク) 保立浩一 山川茂樹  
内田和男 中川裕幸  
小川利春 笹井浩毅  
(同友) 竹内 裕 清水 修  
大貫和保 神崎正浩  
伊賀誠司 石川 憲

監事 小田治親(弁ク)大塚明博(同友)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)  
菊池新一(同友)原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)  
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)  
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)  
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)  
小林正治(同友)伊藤 進(弁ク)

総務委員会

委員長 米山淑幸(同友)  
副委員長 山川茂樹(会計担当)(弁ク)  
委員 (弁ク) 井上誠一 美濃好美  
茅野直勝 三谷 恵  
(同友) 花村 太 粕川敏夫  
神崎正浩 小島 猛

企画委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)  
 副委員長 新井 全(同友)  
 委員 (弁ク) 阪本清孝 北村 仁  
 阿仁屋節雄 柿本邦夫  
 (同友) 松下 満 西 和哉  
 且 武尚 佐藤 陽

政策委員会

委員長 三澤正義(弁ク)  
 副委員長 飯田昭夫(同友)  
 委員 (弁ク) 亀谷美明 布施行夫  
 保立浩一 山川茂樹  
 伊藤 進 渡邊一平  
 (同友) 長内行雄 坂口信昭  
 中澤健二 坂本光雄  
 中村盛夫 成瀬重雄

役員協議委員会

委員長 中村盛夫(同友)  
 副委員長 土橋 皓(弁ク)  
 委員 (弁ク) 保立浩一 石川泰男  
 平山一幸 笹井浩毅  
 渡邊一平  
 (同友) 中里浩一 仁科勝史  
 杉本良夫 宮坂 徹

研修委員会

委員長 林 信之(同友)  
 副委員長 中川裕幸(弁ク)  
 委員 (弁ク) 鈴木 知 永岡重幸  
 鈴木 敦 岡田希子  
 (同友) 中村信彦 山田智重  
 大賀真司 井澤 幹

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)  
 副委員長 本田 崇(同友)  
 委員 (弁ク) 紺野正幸 中山 清  
 絹谷信雄 山川政樹  
 (同友) 小池 晃 吉田精孝  
 中山伸治 大橋 弘

【平成17年度】

幹事長 永井義久(弁ク)  
 副幹事長 吉田芳春(同友)  
 (研修、政策、  
 役員協議(後期)担当)  
 小川真一(同友)  
 (企画、  
 役員協議(前期)担当)  
 笹井浩毅(弁ク)  
 (総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 伊賀誠司  
 長内行雄 坂口信昭  
 坂本光雄 中村盛夫  
 (弁ク) 鈴木 知 堤 卓  
 中川裕幸 中山 清  
 布施行夫 山本晃司

監事 大塚明博(同友) 小田治親(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
 古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)  
 菊池新一(同友) 原田信市(同友)  
 絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)  
 小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)  
 田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)  
 中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)  
 伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)

総務委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)  
 副委員長 山崎高明(同友)  
 委員 (同友) 松下 満 杉本良夫  
 宮坂 徹 山田武史  
 安彦 元 関 昌充  
 (弁ク) 井上誠一 柿本邦夫  
 廣田浩一 三谷 恵

企画委員会

委員長 高尾裕之(同友)  
 副委員長 山口義男(弁ク)  
 委員 (弁ク) 阿仁屋節雄 井上誠一  
 (同友) 新井 全 杉本良夫  
 吉村俊一

政策委員会

委員長 川久保新一(弁ク)  
副委員長 坂本光雄(同友)  
委員 (同友) 坂口信昭 中村盛夫  
成瀬重雄  
(弁ク) 木下實三 中島 淳  
井上 一 黒田 壽  
山川茂樹 田中ひろみ

(研修、企画担当)

幹 事 (弁ク) 服部雅紀 金坂憲幸  
川久保新一 小川利春  
永岡重幸 美濃好美  
(同友) 磯野道造 坂口信昭  
小林正治 五十嵐和壽  
小林 保 杉本良夫

役員協議委員会

委員長 長内行雄(同友)  
副委員長 紺野正幸(弁ク)  
副委員長 菊池 徹(同友)  
委員 (弁ク) 水野 清 服部雅紀  
山川茂樹 山本晃司  
(同友) 中澤健二 仁科勝史  
伊賀誠司 崔 秀喆  
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク)大貫和保(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)  
菊池新一(同友)原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)  
小池 晃(同友)木下實三(弁ク)  
田辺敏郎(同友)須山佐一(弁ク)  
中島 淳(弁ク)小林正治(同友)  
伊藤 進(弁ク)磯野道造(同友)  
永井義久(弁ク)

研修委員会

委員長 小川利春(弁ク)  
副委員長 林 信之(同友)  
委員 (同友) 青山 仁  
(弁ク) 北村 仁 永岡重幸  
鈴木 敦

総務委員会

委員長 山崎高明(同友)  
副委員長 美濃好美(弁ク)  
委員 (弁ク) 今井孝弘 柿本邦夫  
(同友) 山田武史 宮坂 徹  
松下 満 杉本良夫  
安彦 元 関 昌充

能力担保専門委員

(同友) 山本彰司 五十嵐和壽  
本宮照久 中村信彦  
(弁ク) 原田 寛 尾川秀昭  
服部雅紀 河部秀男  
赤羽良之

役員協議委員会

委員長 須山佐一(弁ク)  
副委員長 磯野道造(同友)紺野正幸(弁ク)  
委員 (同友) 井澤 幹 菊池 徹  
小島 猛 藤浪一郎  
堂本 環 古川友美  
丸山英一  
(弁ク) 小川利春 金坂憲幸  
塩野谷英城 布施行夫  
山口義雄 山本晃司

調整委員会

委員長 本田 崇(同友)  
副委員長 渡邊一平(弁ク)  
委員 (弁ク) 下田容一郎 川久保新一  
(同友) 吉田精孝 丸山英一

【平成18年度】

幹 事 長 吉田芳春(同友)  
副幹事長 三澤正義(弁ク)  
(役員協議、政策担当)  
長内行雄(同友)  
(総務、調整担当)  
井上誠一(弁ク)

研修委員会

委員長 成瀬重雄(同友)  
副委員長 布施行夫(弁ク)  
委員 (弁ク) 小川利春 長谷川靖  
三谷 恵  
(同友) 林 信之 中村信彦

山田 武史

企画委員会  
委員長 永岡重幸(弁ク)  
副委員長 粕川敏夫(同友)  
(同友) 松下 満 花村 太  
中原文彦  
(弁ク) 柿本邦夫 阿仁屋節雄  
山口義雄

政策委員会  
委員長 崔 秀喆(同友)  
副委員長 廣瀬隆行(弁ク)  
委員 (弁ク) 保立浩一 笹井浩毅  
鈴木喜三郎 田中ひろみ  
井上 一 今井孝弘  
岡田希子 奥田 誠  
金坂憲幸 上條由紀子  
茅野直勝 川久保新一  
木下實三 小林 浩  
佐成重範 永井義久  
永岡重幸 服部雅紀  
美濃好美 山本晃司  
中島 淳 山川茂樹  
(同友) 丸山英一 小林 保  
小林正治 坂本光雄  
本宮照久 菊池 徹  
杉本良夫 坂口信昭

調整委員会  
委員長 永井義久(弁ク)  
副委員長 山本彰司(同友)  
委員 (同友) 吉田精孝 丸山英一  
(弁ク) 下田容一郎 川久保新一

幹 事 (同友) 坂口信昭 五十嵐和壽  
坂本光雄 伊賀誠司  
杉本良夫 中原文彦  
(弁ク) 小川利春 井上誠一  
塩野谷英城 永岡重幸  
服部雅紀 三澤正義

監 事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相 談 役 (同友) 田中武文 佐々木功  
菊池新一 原田信市  
米屋武志 小池 晃  
田辺敏郎 小林正治  
磯野道造 吉田芳春  
(弁ク) 伊藤 進 木下實三  
絹谷信雄 須山佐一  
永井義久 中島 淳  
古谷 馨 山川政樹

総務委員会  
委員長 中川裕幸(弁ク)  
副委員長 中原文彦(同友)  
委員 (同友) 旦 武尚 花村 太  
小島 猛  
(弁ク) 奥川勝利 茅野直勝

政策委員会  
委員長 山本晃司(弁ク)  
副委員長 本宮照久(同友)  
委員 (同友) 坂本光雄 田中雅雄  
崔 秀喆 山田武史  
石川 憲  
(弁ク) 保立浩一 廣瀬隆行  
奥 和幸 住吉勝彦  
田中ひろみ

## 【平成19年度】

幹 事 長 川久保新一(弁ク)  
副幹事長 天野 泉(同友)  
(20周年記念事業担当)  
井上 一(弁ク)  
(総務、政策、調整担当)  
丸山英一(同友)  
(企画、役員協議、  
研修担当)

役員協議委員会  
委員長 小川眞一(同友)  
副委員長 亀谷美明(弁ク)  
委員 (弁ク) 平山一幸 布施行夫  
柿本邦夫  
(同友) 伊賀誠司 粕川敏夫  
高尾裕之

調整委員会  
委員長 渡邊一平(弁ク)

副委員長 山本彰司(同友)  
委 員 選任なし

中原文彦 萼 経夫  
松下 満 山木義明

研修委員会  
委員長 米山淑幸(同友)  
副委員長 今井孝弘(弁ク)  
委 員 (弁ク) 絹谷晴久 須山英明  
長谷川靖  
(同友) 中村信彦 三島広規  
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク) 坂口信昭(同友)

相談役 (弁ク) 伊藤 進 川久保新一  
木下實三 絹谷信雄  
須山佐一 永井義久  
中島 淳 古谷 馨  
山川政樹  
(同友) 磯野道造 菊池新一  
小池 晃 小林正治  
佐々木功 田中武文  
田辺敏郎 原田信市  
吉田芳春 米屋武志

企画委員会  
委員長 菊池 徹(同友)  
副委員長 山本寿武(弁ク)  
委 員 (弁ク) 阿仁屋節雄 奥田 誠  
鈴木喜三郎 山口義雄  
(同友) 青山 仁 高尾裕之  
本宮照久

総務委員会  
委員長 中原文彦(同友)  
副委員長 住吉勝彦(弁ク)  
委 員 (弁ク) 鈴木 知 柿本邦夫  
小國泰弘  
(同友) 菊池 徹 宮坂 徹  
山田武史

20周年記念事業実行委員会  
委員長 永井義久(弁ク)  
副委員長 伊賀誠司(同友)  
部会長 〈式典〉黒田 壽(弁ク)  
部会長 〈祝賀会〉小川眞一(同友)  
委 員 (同友) 伊賀誠司 新井 全  
中村盛夫 崔 秀喆  
粉川敏夫 杉本良夫  
(弁ク) 茅野直勝 原田 寛  
山口邦夫 中川裕幸  
伊藤信和 柿本邦夫  
鈴木 知

政策委員会  
委員長 住吉勝彦(弁ク)  
副委員長 本田 淳(同友)  
委 員 (同友) 森 哲也 天野 泉  
竹内 裕 小池 晃  
古谷史旺 吉田芳春  
丸山英一 山田武史  
長内行雄 笹川 拓  
関 昌充 笹野拓馬  
(弁ク) 世良和信 川久保新一  
井上 一 金坂憲幸  
山本寿武 奥田 誠  
伊藤信和 今井孝弘  
上條由紀子 奥 和幸  
恒川圭志 及川 周  
國井久美子 森岡嗣象  
高橋史保

【平成20年度】

幹事長 小川眞一(同友)  
副幹事長 亀谷美明(弁ク)  
(政策、役員協議担当)  
中川裕幸(弁ク)  
(研修、企画担当)  
伊賀誠司(同友)  
(総務、調整担当)

幹 事 (弁ク) 金坂憲幸 塩野谷英城  
鈴木 知 永井義久  
永岡重幸 三澤正義  
(同友) 新井 全 坂本光雄

企画委員会  
委員長 長内行雄(同友)  
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)  
委 員 (弁ク) 加藤和孝 村井弘実

(同友) 菊池 徹 谷山尚史  
井澤 幹

木下實三 絹谷信雄  
須山佐一 永井義久  
中島 淳 古谷 馨  
山川政樹

研修委員会

委員長 奥 和幸(弁ク)  
副委員長 大塚明博(同友)  
委員 (弁ク) 今井孝弘 加藤政之  
石戸孝則

総務委員会

委員長 永岡重幸(弁ク)  
副委員長 吉村俊一(同友)  
委員 (同友) 青山 仁 笹川 拓  
関 昌充  
(弁ク) 山川茂樹 柿本邦夫  
奥 和幸

調整委員会

委員長 山本彰司(同友)  
副委員長 三澤正義(弁ク)  
委員 (弁ク) 下田容一郎 伊藤 進  
(同友) 古谷史旺 丸山英一

政策委員会

委員長 森 哲也(同友)  
副委員長 山本晃司(弁ク)  
委員 (弁ク) 伊藤 進 井上誠一  
及川 周 奥 和幸  
川久保新一 川守田光紀  
國井久美子 住吉勝彦  
世良和信 永井義久  
永岡重幸 山川茂樹  
梶 俊和  
(同友) 天野 泉 小川眞一  
小池 晃 笹川 拓  
笹野拓馬 関 昌充  
竹内 裕 恒川圭志  
古谷史旺 本田 淳  
丸山英一 山崎高明  
山田武史 吉田芳春

役員協議委員会

委員長 保立浩一(弁ク)  
副委員長 吉田芳春(同友)

役員協議委員会

委員長 吉田芳春(同友)  
副委員長 保立浩一(弁ク)

【平成21年度】

幹事長 渡邊一平(弁ク)  
副幹事長 本宮照久(同友)  
(企画、研修担当)  
山崎高明(同友)  
(政策、役員協議担当)  
黒田 壽(弁ク)  
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 坂本光雄  
松下 満 山木義明  
菊池 徹 大塚明博  
(弁ク) 小川利春 井上誠一  
塩野谷英城 今井孝弘  
山川茂樹 山口義雄

監事 坂口信昭(同友)  
真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功  
菊池新一 原田信市  
米屋武志 小池 晃  
田辺敏郎 古谷史旺  
小林正治 磯野道造  
吉田芳春 小川眞一  
(弁ク) 伊藤 進 川久保新一

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)  
副委員長 山本彰司(同友)  
委員 (同友) 天野 泉 古谷史旺  
(弁ク) 伊藤 進 下田容一郎

研修委員会

委員長 中原文彦(同友)  
副委員長 鈴木 敦(弁ク)  
委員 (弁ク) 住吉勝彦  
(同友) 山田武史

企画委員会  
委員長 梶 俊和(弁ク)  
副委員長 中原文彦(同友)  
委員 (同友) 井澤 幹 本田 淳  
(弁ク) 山口義雄 瀧澤匡則

(弁ク) 伊藤 進 内田和男  
永井義久 川久保新一  
井上誠一 永岡重幸  
奥 和幸 住吉勝彦  
梶 俊和

【平成22年度】

幹事長 亀谷美明(弁ク)  
副幹事長 田中雅雄(同友)  
山川茂樹(弁ク)  
吉村俊一(同友)  
  
幹事 (同友) 大塚明博 坂本光雄  
山木義明 松下 満  
新井 全 菊池 徹  
(弁ク) 小川利春 岡本啓三  
井上誠一 山本晃司  
永岡重幸 今井孝弘

監事 坂口信昭(同友) 齋藤美晴(弁ク)  
  
相談役 (同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平

総務委員会  
委員長 住吉勝彦(弁ク)  
副委員長 本田 淳(同友)  
委員 松本一騎(弁ク)  
長野みか(弁ク)

政策委員会  
委員長 山本晃司(弁ク)  
副委員長 藤井稔也(同友)  
(同友) 天野 泉 竹内 裕  
小池 晃 古谷史旺  
吉田芳春 丸山英一  
山田武史 本田 淳

役員協議委員会

委員長 丸山英一(同友) (4/1～)  
副委員長 鈴木 知(弁ク)  
委員 (弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久  
潮 太郎  
(同友) 中村盛夫 坂本光雄  
藤井稔也 林 信之  
笹川 拓 本田 淳

調整委員会

委員長 田辺敏郎(同友)  
副委員長 伊藤 進(弁ク)  
委員 山本彰司(同友)

研修委員会

委員長 今井孝弘(弁ク)  
副委員長 山田武史(同友)  
委員 中原文彦(同友)

企画委員会

委員長 佐尾山和彦(同友)  
副委員長 伊藤信和(弁ク)  
委員 (弁ク) 山本寿武 奥 和幸  
(同友) 菊池 徹 古川友美

【平成23年度】

選任なし

【平成24年度】

幹事長 古谷史旺(同友)  
副幹事長 中川裕幸(弁ク)  
山川茂樹(弁ク)  
小川眞一(同友)

幹事 (弁ク) 柿本邦夫 塩野谷英城  
絹谷晴久 木戸基文  
(同友) 大塚明博 坂本光雄  
山木義明 松下 満

新井 全 菊池 徹

吉田芳春 小川眞一

監 事 齋藤美晴(弁ク) 坂口信昭(同友)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一  
(同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一

総務委員会

委員 長 中原文彦(同友)  
副委員 長 小國泰弘(弁ク)

その他の委員会については、立ち上げず

#### 【平成25年度】

幹 事 長 丸山英一(同友)  
副幹事長 中川裕幸(弁ク)  
山本晃司(弁ク)  
吉村俊一(同友)

幹 事 (弁ク) 木下實三 井上誠一  
岸本達人 永岡重幸  
滝澤匡則 野崎俊剛  
(同友) 田中雅雄 山崎高明  
山田武史 中原文彦  
安彦 元 井澤 幹

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一  
(同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治

総務委員会

委員 長 安彦 元(同友)  
副委員 長 滝澤匡則(弁ク)

政策委員会

委員 長 永岡重幸(弁ク)  
副委員 長 山崎高明(同友)

役員協議委員会

委員 長 井澤 幹(同友)  
副委員 長 井上誠一(弁ク)

調整委員会

委員 長 木下實三(弁ク)  
副委員 長 田中雅雄(同友)

研修委員会

委員 長 野崎俊剛(弁ク)  
副委員 長 山田武史(同友)

企画委員会

委員 長 中原文彦(同友)  
副委員 長 岸本達人(弁ク)

#### 【平成26年度】

幹 事 長 山川茂樹(弁ク)  
副幹事長 青山 仁(同友)  
(企画委員会、研修委員会)  
井澤 幹(同友)  
(役員協議委員会、調整委員会)  
鈴木 知(弁ク)  
(総務委員会、政策委員会)

幹 事 (同友) 丸山英一 山崎高明  
笹川 拓 茜ヶ久保公二  
岩田克子 本田 淳  
(弁ク) 世良和信 渡邊一平  
岸本達人 小國泰弘  
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功

磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平

#### 総務委員会

委員 長 塩野谷英城(弁ク)  
副委員 長 本田 淳(同友)  
委 員 (同友) 笹野拓馬 石井理太  
(弁ク) 柿本邦夫 飛田高介

#### 政策委員会

委員 長 山崎高明(同友)  
副委員 長 瀧澤匡則(弁ク)  
委 員 (弁ク) 伊藤 進 永井義久  
渡邊一平 岸本達人  
岡田希子 永岡重幸  
小國泰弘 今堀克彦  
須山英明 奥川勝利  
内野則彰 岩田耕一  
富澤 正 野崎俊剛  
(同友) 竹内 裕 仁科勝史  
吉田芳春 長内行雄  
伊賀誠司 丸山英一  
山田武史 笹川 拓  
恒川圭志 石川 憲  
井澤 幹 笹野拓馬  
茂木康彦 大和田昭彦

#### 企画委員会

委員 長 小田原敬一(弁ク)  
副委員 長 岩田克子(同友)  
委 員 (同友) 仲村圭代 駒場大視  
(弁ク) 奥川勝利 潮 太朗

#### 役員協議委員会

委員 長 永岡重幸(弁ク)  
副委員 長 茜ヶ久保公二(同友)  
委 員 (同友) 田辺 恵 藤浪一郎  
徳増あゆみ 飯野智史

須田守一

(弁ク) 船津暢宏 小國泰弘  
美川公司 梶 俊和

#### 調整委員会

委員 長 丸山英一(同友)  
副委員 長 伊藤 進(弁ク)  
委 員 (弁ク) 船津暢宏 山本晃司  
(同友) 田中雅雄 柏川敏夫

#### 研修委員会

委員 長 笹川 拓(同友)  
副委員 長 三輪浩誉(弁ク)  
委 員 (弁ク) 松本一騎  
(同友) 山田武史

#### 【平成 27 年度】

幹 事 長 山本晃司(弁ク)  
副幹事 長 永岡重幸(弁ク)  
(企画委員会、研修委員会)  
森 俊秀(同友)  
(総務委員会、政策委員会)  
石川 憲(同友)  
(役員協議委員会、調整委員会)

幹 事 (同友) 小川眞一 山田武史  
吉村俊一 安彦 元  
本田 淳 大橋剛之  
(弁ク) 世良和信 渡邊一平  
岸本達人 小國泰弘  
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 真田修治(弁ク) 坂本光雄(同友)

相 談 役 (同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平

委員会  
総務委員会

委員長 大橋剛之(同友)  
副委員長 飛田高介(弁ク)  
委員 (同友) 茂木康彦 陸名智之  
(弁ク) 柿本邦夫 佐々木まどか

政策委員会

委員長 三輪浩誉(弁ク)  
副委員長 本田 淳(同友)  
委員 (同友) 坂口信昭 飯田昭夫  
中村盛夫 伊賀誠司  
関 昌充 井澤 幹  
(弁ク) 伊藤 進 濱田百合子  
松本一騎 熊井 寛  
野崎俊剛 美川公司

企画委員会

委員長 安彦 元(同友)  
副委員長 奥 和幸(弁ク)  
委員 (同友) 徳増あゆみ 駒場大視  
(弁ク) 柿本邦夫 永井 望

役員協議委員会

委員長 吉村俊一(同友)  
副委員長 梶 俊和(弁ク)  
委員 丸山英一(同友)

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)  
副委員長 小川眞一(同友)  
委員 (同友) 田辺敏郎  
(弁ク) 船津暢宏 黒田 壽  
瀧澤匡則

研修委員会

委員長 野崎俊剛(弁ク)  
副委員長 山田武史(同友)  
委員 (同友) 笹川 拓  
(弁ク) 下田憲雅

幹事長 石川 憲(同友)

副幹事長 船津暢宏(弁ク)  
(役員協議、調整)  
梶 俊和(弁ク)  
(政策、企画、研修)  
笹野拓馬(同友)  
(総務、30周年準備)

幹事 (同友) 小林 保 長内行雄  
小川眞一 山田武史  
本田 淳 徳増あゆみ  
(弁ク) 永井義久 中川裕幸  
山本晃司 岸本達人  
須山英明 瀧澤匡則

監事 中村盛夫(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会  
委員長 中川裕幸(弁ク)  
副委員長 笹川 拓(同友)  
委員 (同友) 松本直子  
(弁ク) 佐々木まどか 高橋 堅

政策委員会

委員長 小林 保(同友)  
副委員長 小田原敬一(弁ク)  
委員 (同友) 古谷史旺 関 昌充  
井澤 幹 田辺 恵  
高下雅弘

(弁ク) 伊藤 進 山本晃司  
岡田希子 永岡重幸  
小國泰弘 今堀克彦  
須山英明 奥川勝利  
岩田耕一 富澤 正

幹 事 (同友) 小林 保 小川眞一  
丸山英一 吉村俊一  
石川 憲 松本直子  
(弁ク) 永井義久 船津暢宏  
中川裕幸 岸本達人  
瀧津匡則 熊井 寛

#### 企画委員会

委員 長 須山英明(弁ク)  
副委員 長 吉田倫太郎(同友)  
委 員 (同友) 本田 淳 川崎ひかり  
(弁ク) 小國泰弘 下田憲雅

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 石川 憲  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
山川茂樹 山本晃司

#### 役員協議委員会

委員 長 山川茂樹(弁ク)  
副委員 長 井澤 幹(同友)  
委 員 (同友) 安彦 元 山下幸彦  
(弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久

#### 委員会

##### 総務委員会

委員 長 小野友彰(同友)  
副委員 長 今堀克彦(弁ク)  
委 員 (同友) 笹野拓馬  
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

#### 調整委員会

委員 長 長内行雄(同友)  
副委員 長 山川茂樹(弁ク)  
委 員 (同友) 小川眞一 吉村俊一  
(弁ク) 岸本達人 瀧津匡則

#### 政策委員会

委員 長 船津暢宏(弁ク)  
副委員 長 古谷史旺(同友)  
委 員 (同友) 坂口信昭 伊賀誠司  
関 昌充 田辺 恵  
茂木康彦 松本直子  
(弁ク) 伊藤 進 中島 淳  
永井義久 山本晃司  
永岡重幸 今堀克彦  
三輪浩誉 須山英明  
奥川勝利 小田原敬一  
富澤 正

#### 研修委員会

委員 長 山田武史(同友)  
副委員 長 飛田高介(弁ク)  
委 員 (同友) 横田香澄  
(弁ク) 柿本邦夫

#### 30周年記念事業準備委員会

委員 長 粕川敏夫(同友)  
副委員 長 永井義久(弁ク)  
委 員 (同友) 古谷史旺  
(弁ク) 永岡重幸

### 【平成 29 年度】

幹 事 長 粕川敏夫(同友)

副幹事長 塩野谷英城(弁ク)

(政策、役員協議、調整)

絹谷晴久(弁ク)

(企画、研修)

笹川 拓(同友)

(総務、30周年記念事業)

#### 企画委員会

委員 長 笹野拓馬(同友)  
副委員 長 熊井 寛(弁ク)  
委 員 (同友) 山下幸彦 川崎ひかり  
(弁ク) 権正英樹 瀧津匡則

役員協議委員会

委員長 石川 憲(同友)  
副委員長 岸本達人(弁ク)  
委員 (同友) 藤井稔也 藤浪一郎  
(弁ク) 大淵美千栄 小林 功

調整委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)  
副委員長 丸山英一(同友)  
委員 (同友) 小川眞一 高下雅弘  
(弁ク) 岸本達人

研修委員会

委員長 伊藤信和(弁ク)  
副委員長 横田香澄(同友)  
委員 (同友) 徳増あゆみ  
(弁ク) 柿本邦夫 中川裕幸

30周年記念事業実行委員会

委員長 青山 仁(同友)  
副委員長 永井義久(弁ク)  
式典部会長 吉村俊一(同友)  
祝賀会部会長 山川茂樹(弁ク)  
記念誌部会長 松本直子(同友)  
委員 (同友) 古谷史旺 小野友彰  
田辺 恵 岩田克子  
笹野拓馬 徳増あゆみ  
坂口吉之助 保屋野光繁  
(弁ク) 永岡重幸 今堀克彦  
三苦貴織 新井 宏  
橋 祐史 美川公司  
夏目洋子 尾崎祐朗  
張 華威

幹 事 (同友) 林 實 小林 保  
小川眞一 丸山英一  
笹野拓馬 松本直子  
(弁ク) 中川裕幸 山本晃司  
伊藤信和 今堀克彦  
瀧澤匡則 潮 太朗

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 粕川敏夫  
石川 憲  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 潮 太朗(弁ク)  
副委員長 松本直子(同友)  
委員 (同友) 河合利恵  
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 伊賀誠司(同友)  
副委員長 橋 和之(弁ク)  
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保  
長内行雄 小川眞一  
丸山英一 山崎高明  
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸  
山川茂樹 岸本達人  
塩野谷英城 瀧澤匡則

企画委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)  
副委員長 横田香澄(同友)  
委員 (同友) 吉村俊一 高井智之  
(弁ク) 絹谷晴久 加藤和孝  
小田原敬一

【平成 30 年度】

幹 事 長 鈴木 知(弁ク)

副幹事長 菊池 徹(同友)  
(調整、研修)

関 昌充(同友)  
(政策、役員協議)

奥川勝利(弁ク)  
(総務、企画)

役員協議委員会

委員長 山本晃司(弁ク)  
副委員長 藤浪一郎(同友) 吉村俊一(同友)  
委員 (同友) 藤井稔也 井澤 幹  
関 大祐 高下雅弘  
吉田倫太郎  
(弁ク) 今堀克彦 絹谷晴久

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
鈴木 知 山川茂樹  
山本晃司

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)  
副委員長 山本晃司(弁ク)  
委員 (同友) 小川眞一  
(弁ク) 中川裕幸 瀧澤匡則

委員会

総務委員会  
委員長 笹野拓馬(同友)  
副委員長 三苫貴織(弁ク)  
委員 (同友) 山下幸彦 関 大祐  
(弁ク) 村野直仁 武田侑希

研修委員会

委員長 谷口 登(同友)  
副委員長 伊藤信和(弁ク)  
委員 (同友) 茜ヶ久保公二  
(弁ク) 権正英樹 河部康弘

政策委員会

委員長 潮 太郎(弁ク)  
副委員長 中原文彦(同友)  
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保  
長内行雄 丸山英一  
山崎高明 横田香澄  
(弁ク) 濱田百合子 中川裕幸  
今堀克彦 奥川勝利  
高橋 堅 加藤和孝

【令和元年度】

幹事長 塩野谷英城(弁ク)

副幹事長 伊賀誠司(同友)  
(政策、役員協議、調整)  
瀧澤匡則(弁ク)  
(企画、研修)  
松本直子(同友)  
(総務)

企画委員会

委員長 笹川 拓(同友)  
副委員長 須藤 淳(弁ク)  
委員 (同友) 小島 猛 河合利恵  
(弁ク) 絹谷晴久 岩田耕一

幹事 (同友) 林 實 小林 保  
小川眞一 丸山英一  
高田大輔 吉田倫太郎  
(弁ク) 中川裕幸 小國泰弘  
今堀克彦 奥川勝利  
加藤和孝 潮 太郎

役員協議委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)  
副委員長 藤浪一郎(同友)  
委員 (同友) 高下雅弘 服部綾子  
(弁ク) 笠原 翔 厚木 薫

監事 永井義久(弁ク) 長内行雄(同友)

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)  
副委員長 中川裕幸(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 粕川敏夫  
石川 憲

研修委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)  
副委員長 谷口 登(同友)  
委員 (同友) 茜ヶ久保公二 駒場大視  
(弁ク) 関根武彦 美川公司

【令和2年度】

幹事長 吉村俊一(同友)

副幹事長 梶 俊和(弁ク)  
(総務、政策)

笹川 拓(同友)  
(企画、研修)

潮 太郎(弁ク)  
(役協、調整)

幹事 (同友) 小川眞一 高田大輔  
笹野拓馬 山下幸彦  
松本直子 吉田倫太郎  
(弁ク) 永井義久 船津暢宏  
奥川勝利 美川公司  
小越一輝 河部康弘

監事 真田修治(弁ク) 長内行雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 粕川敏夫  
石川 憲  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
鈴木 知 山川茂樹  
山本晃司 塩野谷英城

委員会  
総務委員会  
委員長 河部康弘(弁ク)  
副委員長 河合利恵(同友)  
委員 (同友) 関 大祐  
(弁ク) 今堀克彦 加藤和孝  
瀧澤匡則

政策委員会  
委員長 吉田倫太郎(同友)  
副委員長 權正英樹(弁ク)  
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保

丸山英一 山崎高明  
藤浪一郎  
(弁ク) 山川茂樹 山本晃司  
奥川勝利 加藤和孝  
美川公司

企画委員会  
委員長 小越一輝(弁ク)  
副委員長 小島 猛(同友)  
委員 (同友) 松本直子  
(弁ク) 須藤 淳 岩田耕一

役員協議委員会  
委員長 高田大輔(同友)  
副委員長 船津暢宏(弁ク)  
委員 (弁ク) 井上誠一 山本晃司  
絹谷晴久

調整委員会  
委員長 永井義久(弁ク)  
副委員長 長内行雄(同友)  
委員 (弁ク) 絹谷晴久 山内輝和

研修委員会  
委員長 山田武史(同友)  
副委員長 永井 望(弁ク)  
委員 (同友) 横田香澄  
(弁ク) 權正英樹

【令和3年度】

幹事長 井澤 幹(同友)

副幹事長 岸本達人(弁ク)  
(総務、政策)

小國泰弘(弁ク)  
(企画、研修)

茜ヶ久保公二(同友)  
(役協、調整)

幹事 (同友) 小川眞一 田辺 恵  
松本直子 吉田倫太郎  
河合利恵  
(弁ク) 今堀克彦 梶 俊和  
權正英樹 瀧澤匡則  
美川公司 小越一輝  
河部康弘 三浦康浩

監 事 真田修治(弁ク) 長内行雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 粕川敏夫  
石川 憲  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
鈴木 知 山川茂樹  
山本晃司 塩野谷英城

調整委員会

委員長 梶 俊和(弁ク)  
副委員長 長内行雄(同友)  
委員 (弁ク) 船津暢宏 権正英樹  
美川公司

研修委員会

委員長 三浦康浩(弁ク)  
副委員長 谷口 登(同友)  
委員 (同友) 荻 弥生  
(弁ク) 永井 望

委員会

総務委員会

委員長 笹川 拓(同友)  
副委員長 河部康弘(弁ク)  
委員 (同友) 河合利恵  
(弁ク) 村野直仁先生

政策委員会

委員長 今堀克彦(弁ク)  
副委員長 吉村俊一(同友)  
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保  
丸山英一 山崎高明  
藤浪一郎 河部康弘  
(弁ク) 船津暢宏 中川裕幸  
山川茂樹 山本晃司  
絹谷晴久 奥川勝利  
瀧澤匡則 奥村光平

企画委員会

委員長 吉田倫太郎(同友)  
副委員長 小越一輝(弁ク)  
委員 (同友) 松本直子  
(弁ク) 須藤 淳 岩田耕一

役員協議委員会

委員長 関 大祐(同友)  
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)  
委員 (同友) 高田大輔  
(弁ク) 山川茂樹 権正英樹

# 弁理士連合クラブ会則

(昭和62年9月29日創立総会、即日施行)

## 第1章 総則

### (名称)

第1条 ・本会は、弁理士連合クラブと称する。

### (目的)

第2条 ・本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

### (組織)

第3条 ・本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

### (事務所)

第4条 ・本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

### (入退会)

第5条 ・本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

## 第2章 総会

### (総会)

第6条 ・総会は、定時総会と臨時総会とする。  
・定時総会は年2回2月、並びに8月、9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

### (権限)

第7条 ・総会は、次の事項を審議する。  
1) 予算の議決及び決算の承認に関する事項  
2) 会則の制定、変更又は廃止に関する事項  
3) 役員、相談役及び顧問の選任に関する事項  
4) 日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項  
5) その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

### (召集)

第8条 ・総会は、幹事長が召集する。  
・総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

### (議長及び議事)

第9条 ・総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。  
・議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

## 第3章 役員

### (役員)

第10条 ・本会に次の役員を置く。  
1) 幹事長1人  
2) 副幹事長若干人  
3) 幹事若干人  
4) 監事若干人  
幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。  
役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年1月1日から12月31日までとする。

### (幹事会)

第11条 ・幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。  
・会務の執行は、幹事会がこれを決する。  
・議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。  
第11条の2 ・幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

#### (幹事長)

- 第12条
- ・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
  - ・幹事長は、本会を代表する。
  - ・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。

#### (報告等)

- 第13条
- ・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

#### (監事)

- 第14条
- ・監事は、本会の財務を監査する。

## 第4章 委員会

#### (委員会)

- 第15条
- ・本会に次の委員会を置く。
    - 1) 総務委員会
    - 2) 政策委員会
    - 3) 企画委員会
    - 4) 役員協議委員会
  - ・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

#### (委員選任)

- 第16条
- ・委員は、幹事会において選任する。
  - ・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
  - ・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

#### (正副委員長)

- 第17条
- ・委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
  - ・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
  - ・委員長は委員会を代表する。
  - ・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。

#### (委員会の会議)

- 第18条
- ・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

#### (委員会の職務)

- 第19条
- ・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
    - 1) 総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
    - 2) 政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
    - 3) 企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
    - 4) 役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

## 第5章 相談役及び顧問

#### (相談役及び顧問)

- 第20条
- ・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
  - ・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
  - ・相談役は相談役会を構成する。
  - ・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
  - ・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。

## 第6章 会計

### (会計年度)

第21条・本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

### (特別会計)

第22条・日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

### (経費)

第23条・本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

### (監査報告)

第24条・監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

## 第7章 規則の制定

### (規則の制定)

第25条・幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

## 第8章 会則等の改正

### (会則の改正)

第26条・本会則を改正するには、総会出席会員の3分の2以上の同意がなければならない。

### (規則の改正)

第27条・規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

## 附 則

1. この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
2. 昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
3. 昭和62年度の会計年度は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
4. この会則の一部改正は、平成5年5月17日から施行する。
5. 平成5年度の相談役の任期は、平成5年5月17日から翌年3月31日までとする。
6. この会則の一部改正は、平成11年5月21日から施行する。
7. この会則の一部改正は、平成13年1月25日から施行する。
8. この会則の一部改正は、平成15年8月8日から施行する。
9. ①この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年9月22日から施行し、第6条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年1月1日から施行する。  
②平成16年度の会計年度は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。  
③平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
10. この会則の一部改正は、平成19年2月27日から施行する。
11. この会則の一部改正は、令和2年9月2日から施行する。

# 弁理士連合クラブ慶弔規則

## 第1条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

## 第2条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(i)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ii)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

## 第3条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(i)会員

(ii)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(i)本クラブ幹事長又はその経験者

(ii)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上の経験者

(iii)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

## 第4条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上経験した者

## 第5条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

## 第6条(特 則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めるときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

## 付 則

この規則は平成元年1月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

# 「特別寄付金」を求めるときの 運用基準

## (目的)

第1条 この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

## (対象者)

第2条 特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

## (基準)

第3条 特別寄付金の基準は以下のとおりとする。

1. 日本弁理士会会長又は同経験者……………年6口
  2. 同副会長又は同経験者……………年2口
  3. 同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者……………年4口
  4. 同副監事長又は副議長若しくは同経験者……………年1口
  5. 本会の幹事長又は同経験者……………年3口
  6. 同副幹事長又は同経験者……………年1口
- 1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

## (適用順位)

第4条 対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

## (求めの方法及び時期)

第5条 特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第6条 この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。

- 《注》・平成12年度第7回幹事会（平成12年12月21日開催）で決議  
・平成12年度第2回総会（平成13年1月25日開催）にて報告  
・平成12年度第8回幹事会（平成13年3月29日開催）で、第6条の追加を決議

## 編集後記

本年度も、機関紙「連合」No.33を無事に発行することができました。これもひとえにお忙しい中ご寄稿いただきました先生方のおかげであります。改めて感謝申し上げます。特に、日本弁理士会会長の杉村純子先生、日本弁理士クラブ幹事長の木戸良彦先生、西日本弁理士クラブ幹事長の北原宏修先生には、弁理士連合クラブの旅行会・ゴルフ大会にもご参加いただき、深く御礼申し上げます。

本年度の旅行会・ゴルフ大会は、伝統工芸で有名な金沢で開催いたしました。初日には「松魚亭」で研修会と懇親会を行いました。研修会で講師を務めてくださった谷口登先生には、改めて御礼を申し上げます。二日目は、旅行会とゴルフ大会に分かれ、旅行会は宇宙科学博物館「コスモイル羽咋（はくい）」を見学し、その後、浅田屋六角堂にて名物の鉄板焼きを味わっていただきました。ゴルフ大会では、卯辰山丘陵地の緑に恵まれた「金沢セントラルカントリー倶楽部」にて、皆さまプレーを楽しんでいただきました。参加者の皆様には、金沢をご堪能しつつ、三派交流を深めていただけたのではないかと思います。

本機関紙の表紙には、旅行会で訪問した「コスモイル羽咋（はくい）」に展示されている本物のマーキュリー型レッドストーンロケットの写真を採用いたしました。この写真は、プロカメラマン顔負けに旅行会の各場面を撮影して下さった張華威先生によるものです。張先生にはこの場を借りて御礼申し上げます。

最後になりましたが、幹事長の中川裕幸先生、担当副幹事長の茜ヶ久保公二先生、企画委員会の皆様（委員長の小越一輝先生、委員の岩田耕一先生、坂口吉之助先生）には、原稿依頼から校正まで、多大なるご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（企画副委員長 坂岡 範穂）

弁理士連合クラブ会報  
**連 合**

No.33

令和5年2月吉日

発行 弁理士連合クラブ  
編集 弁理士連合クラブ企画委員会  
制作 ㈱文寿堂  
Tel.03 (3948) 6631



弁理士連合クラブ